

ビデオ プロジェクター

取扱説明書

VPL-HW35ES

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属のクイックリファレンスマニュアルをよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

各部の名前

本機前面／右側面	3
本機後面／底面	4
リモコン	5

接続と準備

準備 1：本機を設置する	6
設置する	6
準備 2：画面の位置を調整する	7
準備 3：機器をつなぐ	12
ビデオ機器をつなぐ	12
パソコンをつなぐ	14
3D シンクロトランスミッターを つなぐ	15

見る

映像を投写する	17
電源を切る	18
映像に合わせてアスペクト比を 切り換える	19
3D 映像を楽しむ	22
シミュレーテッド 3D 機能を使う	23
画質を選ぶ	25
お好みの画質に調整する	26
ダイレクトに項目を選んで調整する	26
より細かく画質を調整する（リアルカ ラプロセッシング）	27

メニュー画面で調整や設定 をする

メニュー操作のしかた	29
画質設定メニュー	32
画質詳細設定メニュー	37
スクリーン設定メニュー	38

初期設定メニュー	41
機能設定メニュー	43
セッティングロックによって ロックされる項目	47
設置設定メニュー	48
情報メニュー	50
プリセットメモリーについて	51

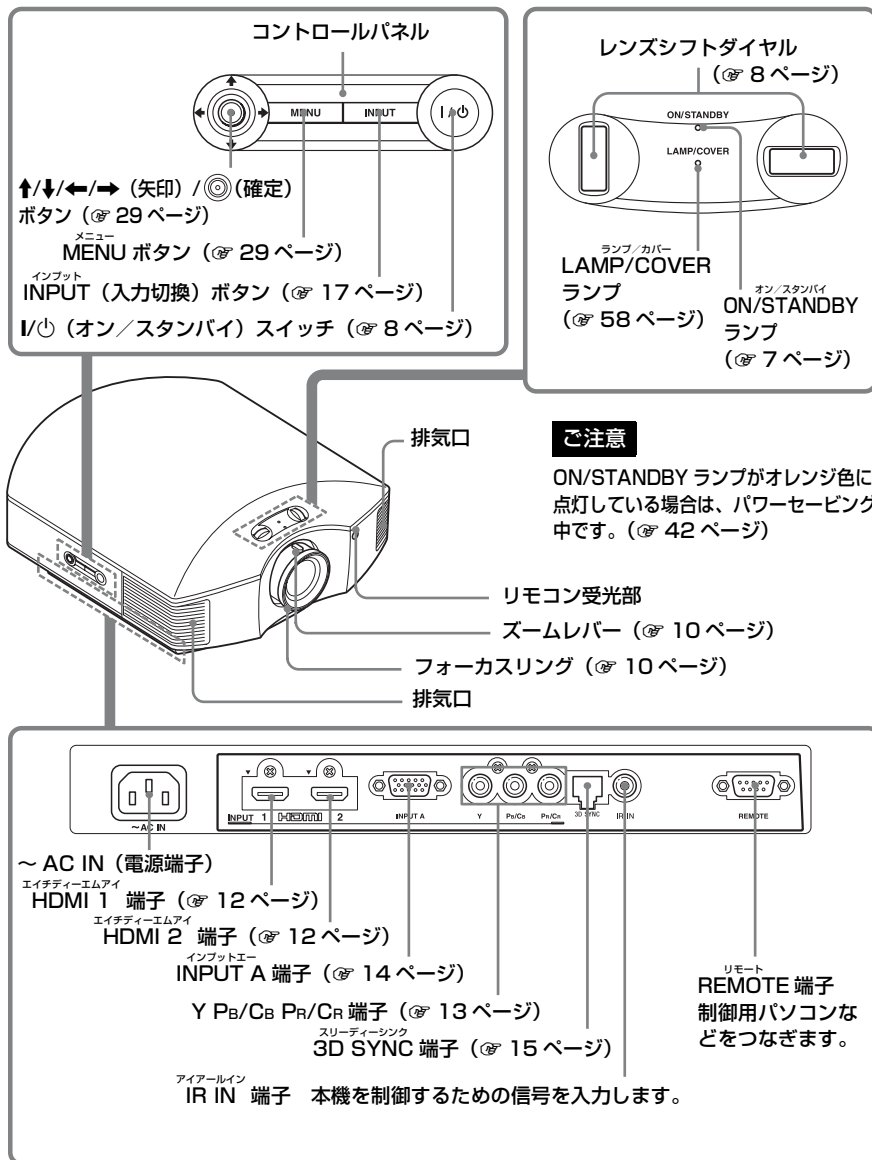
その他

HDMI 機器制御について	52
x.v.Color（エックスブイ・カラー）に ついて	53
シミュレーテッド 3D 機能について	53
故障かな？と思ったら	54
警告ランプ	58
メッセージ一覧	59
光源用ランプとエアフィルターを交換 し吸気口を掃除する	61
エアフィルターを掃除する	65
レンズキャップを取り付ける	65
本機のお手入れについて	66
保証書とアフターサービス	67
主な仕様	68
プリセット信号一覧	70
入力信号と調整・設定項目	72
対応 3D 信号一覧	74
3D 信号と調整／設定項目	74
アスペクトモード	76
調整／設定項目の保存条件	77
投写距離とレンズシフト量	79
索引	83

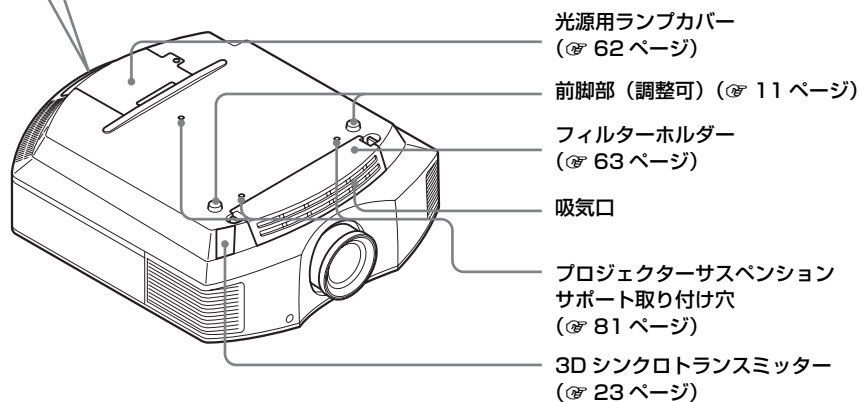
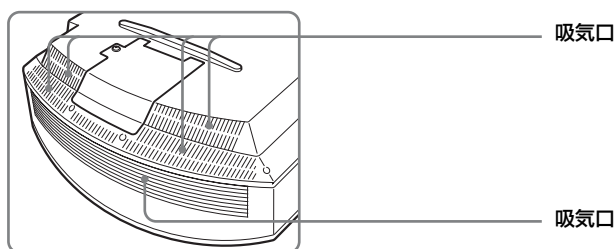
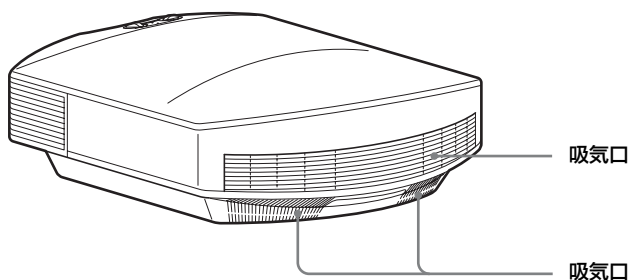
各部の名前

本機前面／右側面

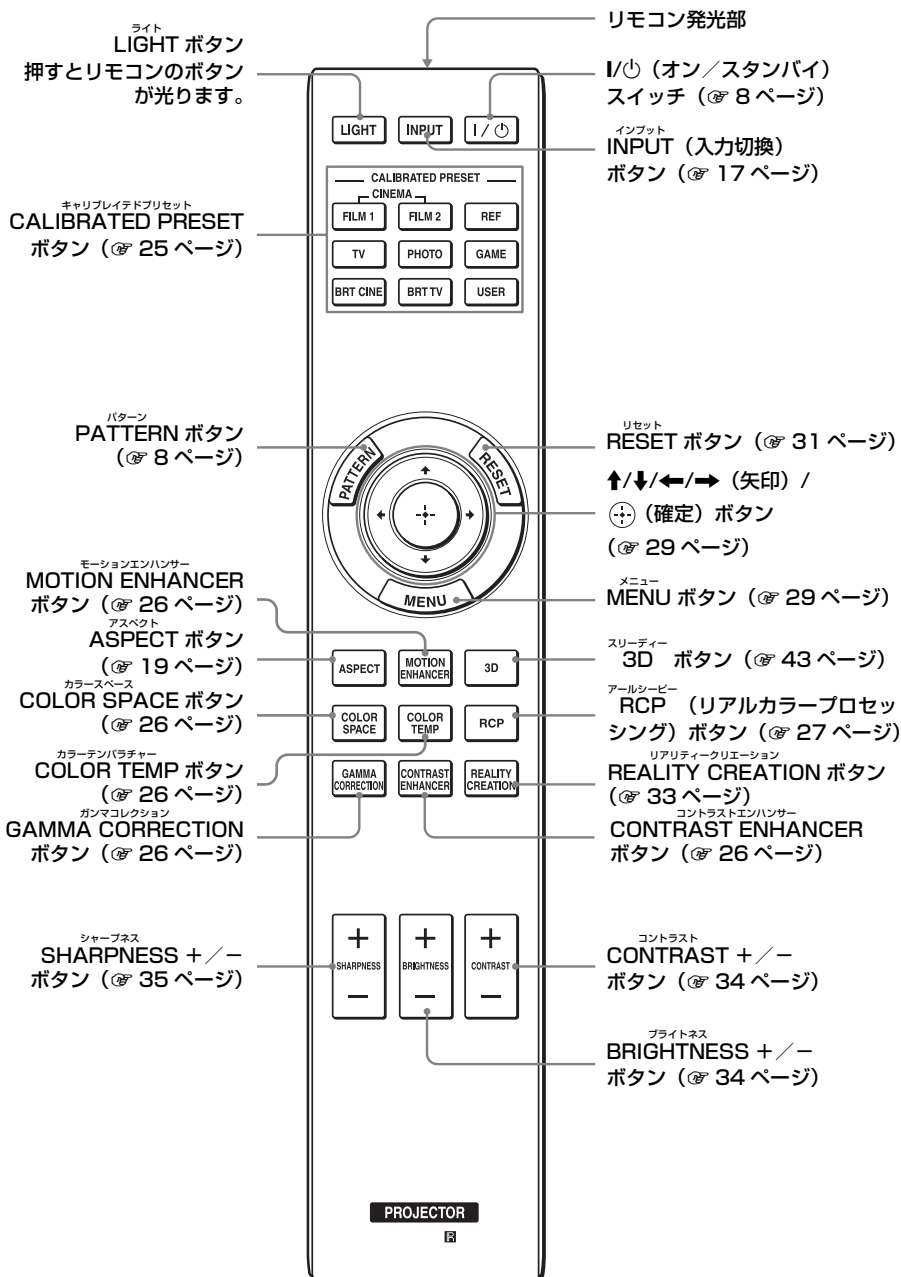
本機のコントロールパネルのボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。



本機後面／底面



リモコン



接続と準備

この章では、プロジェクターとスクリーンを置く位置を決めたり、プロジェクターで映す機器との接続のしかたなどを説明します。

準備 1：本機を設置する

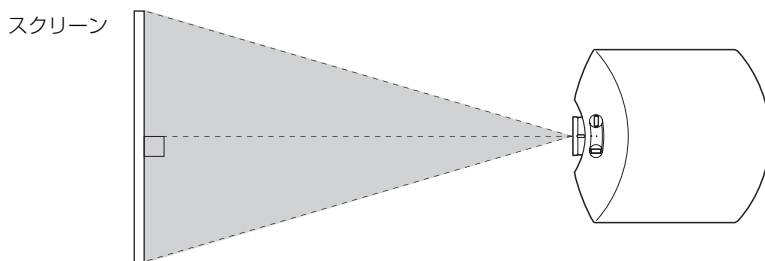
プロジェクターは、ビデオ機器などからの映像をスクリーンに映します。本機はレンズシフトにより、置き場所を広範囲に選べて簡単に美しい映像をご覧いただけます。

設置する

お使いになるスクリーンの大きさ（投影サイズ）やレンズシフト使用の有無によって、スクリーンと本機との位置関係が変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。スクリーンまでの距離（投写距離）と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（[P. 79](#) ページ）をご覧ください。

1 レンズがスクリーンに平行になるようにプロジェクターを置く。

上から見た図



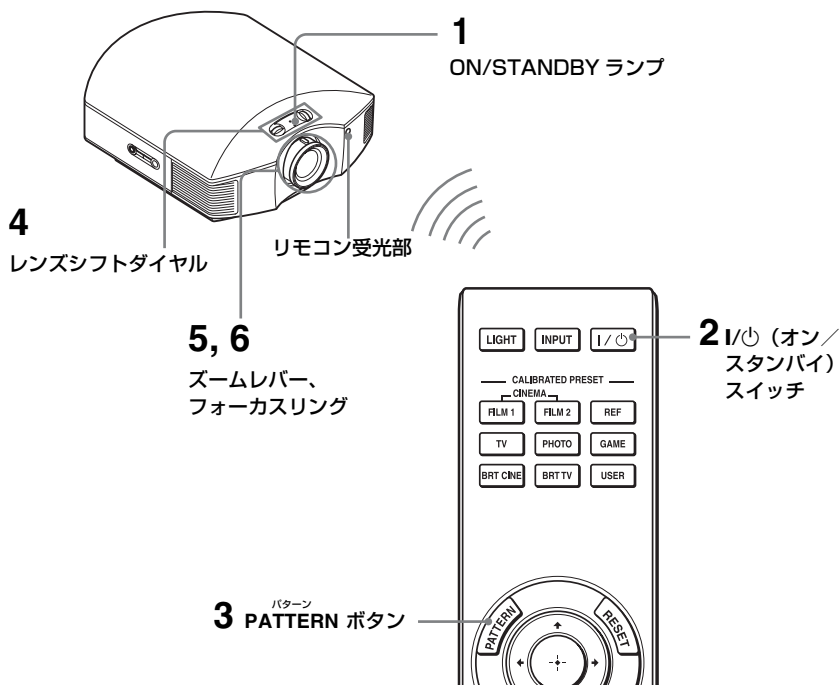
2 スクリーンに画像を映して画面の位置を調整する。（[P. 7](#) ページ）

ご注意

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、プロジェクターとスクリーン間の距離やズーム倍率によっては、まれに画面上に縞模様が現れることがあります。これはプロジェクターの故障ではありません。

準備 2：画面の位置を調整する

スクリーンに画像を映して画面の位置を調整します。



ちょっと一言

本体側面の I/O (オン/スタンバイ)、INPUT、MENU、インプット メニュー $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow/\odot$ (ジョイスティック) ボタンは、リモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

ご注意

設置場所によってはリモコンで操作できないことがまれにあります。その場合は、リモコンをスクリーンに向けて操作してください。

1 電源コードを本機につないでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

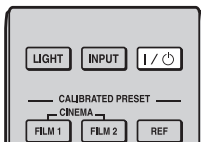
オン スタンバイ
ON/STANDBY ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

ON/STANDBY



赤く点灯

2 I/⏻ (オン/スタンバイ) スイッチを押して電源を入れる。



ON/STANDBY ランプが緑色に点滅したあと、点灯します。

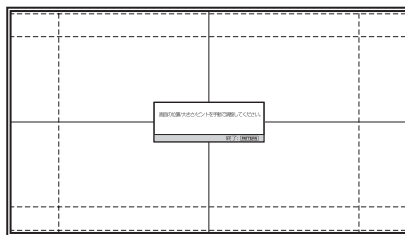
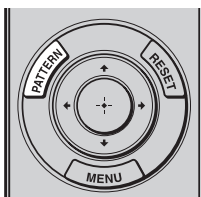
ON/STANDBY



しばらく (数十秒)
点滅し点灯 (緑色)

3 調整用のテスト信号を表示させる。

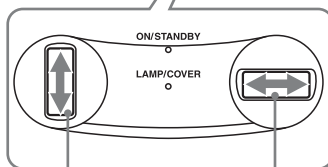
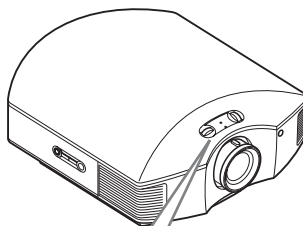
リモコンの PATTERN ボタンを押すと、テスト信号が表示されます。



ちょっと一言

PATTERN ボタンを押すと、テスト信号を消すことができます。

4 両方のレンズシフトダイヤルを動かして画面の位置を合わせる。



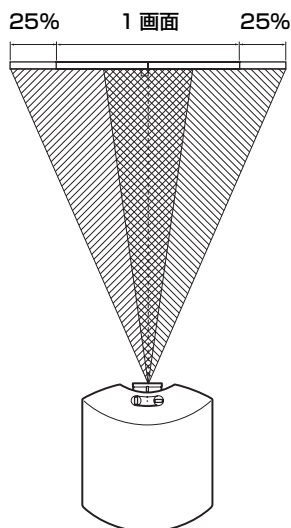
上下の位置を合わせる

左右の位置を合わせる

左右の位置を合わせるには

レンズシフトダイヤルを左右に回す。

レンズの中心から左右に、それぞれスクリーン幅の最大 25% 画面ずつ投影画面を移動できます。



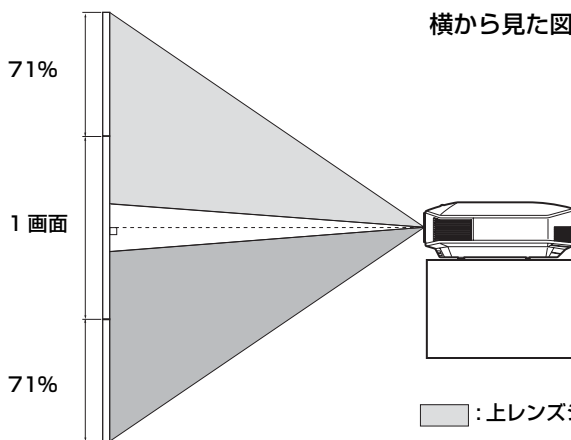
上から見た図

-  : 左レンズシフトを最大にしたときの画面位置
-  : 右レンズシフトを最大にしたときの画面位置

上下の位置を合わせるには

レンズシフトダイヤルを上下に回す。

レンズの中心から上下に、それぞれスクリーンの高さの最大 71% 画面ずつ投影画面を移動できます。

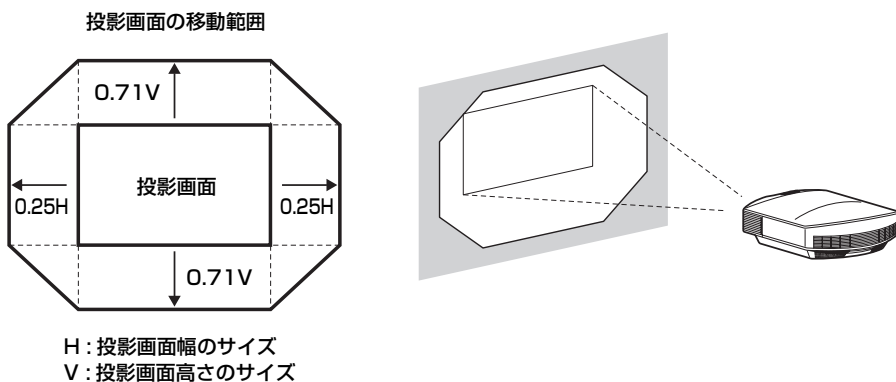


横から見た図

-  : 上レンズシフトを最大にしたときの画面位置
-  : 下レンズシフトを最大にしたときの画面位置

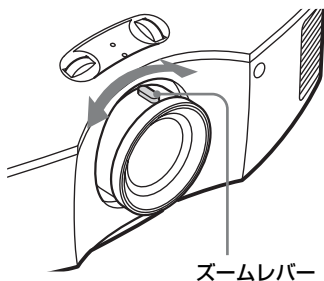
ご注意

- ・ 投影画面の移動は、下図のような 8 角形の範囲内でのみ調整できます。詳細は、「投写距離とレンズシフト量」(P. 79 ページ) をご覧ください。

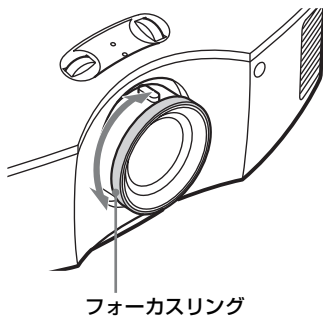


- ・ 左右および上下レンズシフトを併用した場合、投影画面の移動量はレンズシフトの調整量によって異なります。

5 ズームレバーを回して画面の大きさを合わせる。

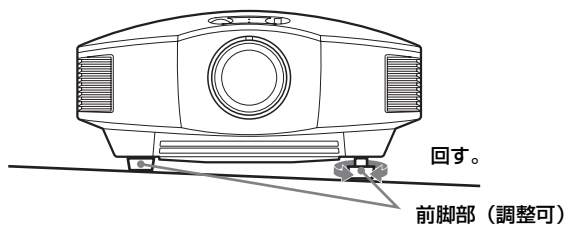


6 フォーカスリングを回してピントを合わせる。



設置面の傾きを調整するには

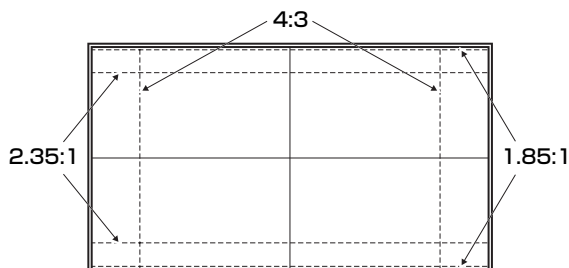
プロジェクターを置く台などが水平でない場合は、前脚部（調整可）を使って調整できます。



ご注意

- ・ 本体を垂直方向に傾けすぎると、投影画面が台形に歪みますのでご注意ください。
- ・ 前脚部（調整可）を回しているとき、手を挟まないようご注意ください。

レンズ調整画面（パターン画面）



準備 3：機器をつなぐ

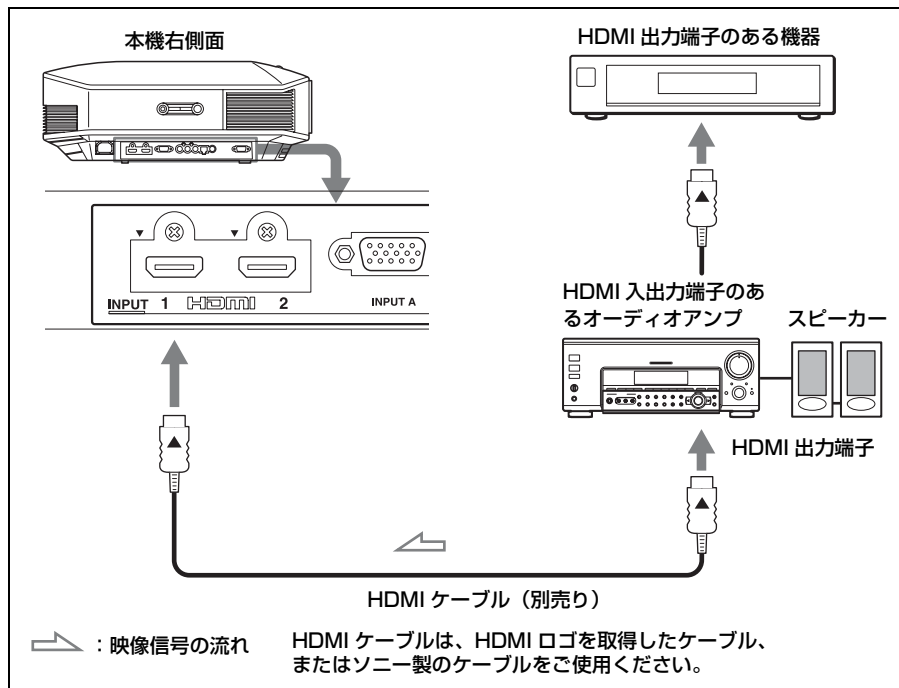
接続するときは

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不十分な接続は動作不良、画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ機器をつなぐ

HDMI 出力端子のある機器をつなぐ場合

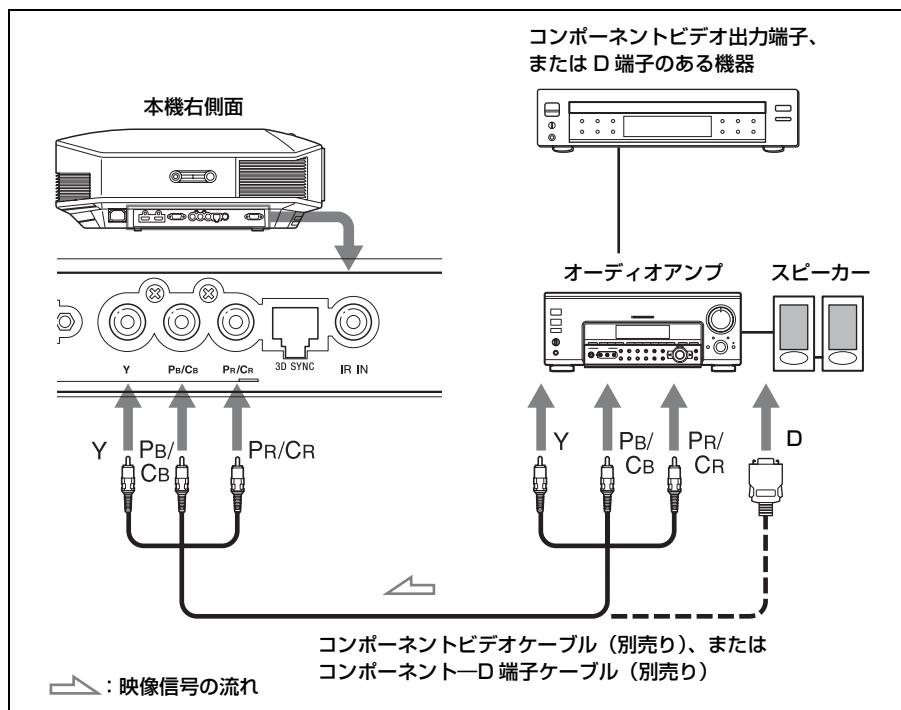
HDMI 出力端子のある DVD プレーヤー／レコーダー、ブルーレイディスク（BD）プレーヤー／レコーダー、プレイステーション®などは、本機の HDMI 入力端子につなぐとより高品質の映像をお楽しみいただけます。さらに、HDMI 機器制御対応機器であれば、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。詳しくは「 機能設定」メニュー（ 43 ページ）および「HDMI 機器制御について」（ 52 ページ）をご覧ください。



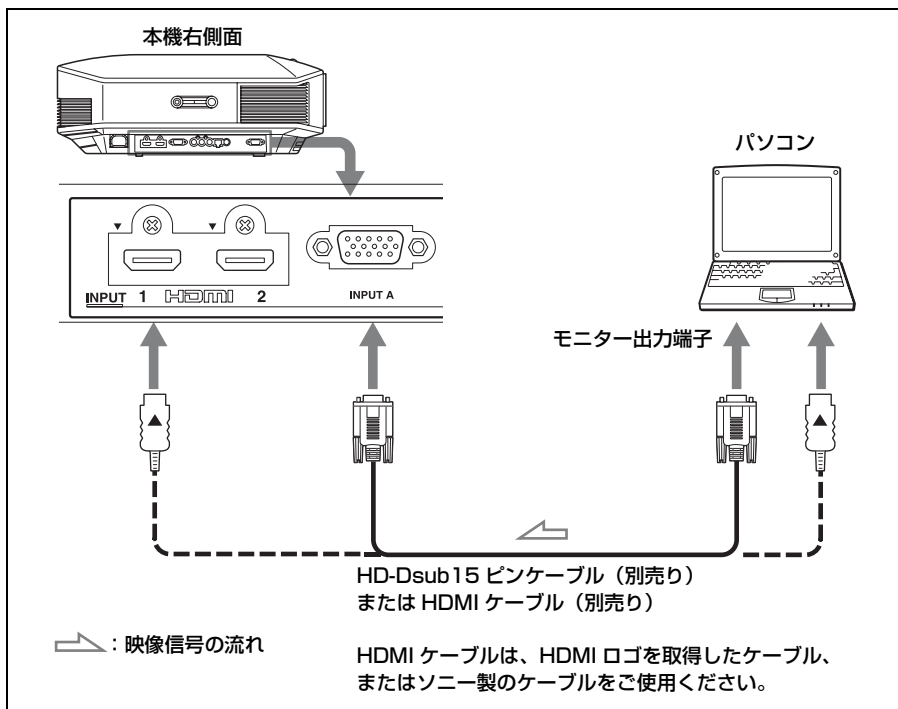
ご注意

- ・ HDMI ケーブルは「High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p、DeepColor、3D の映像が正しく表示できない場合があります。
- ・ HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- ・ HDMI ケーブルでつないだ機器の映像がきれいに映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。

コンポーネントビデオ出力端子、または D 端子のある機器をつなぐ場合



パソコンをつなぐ

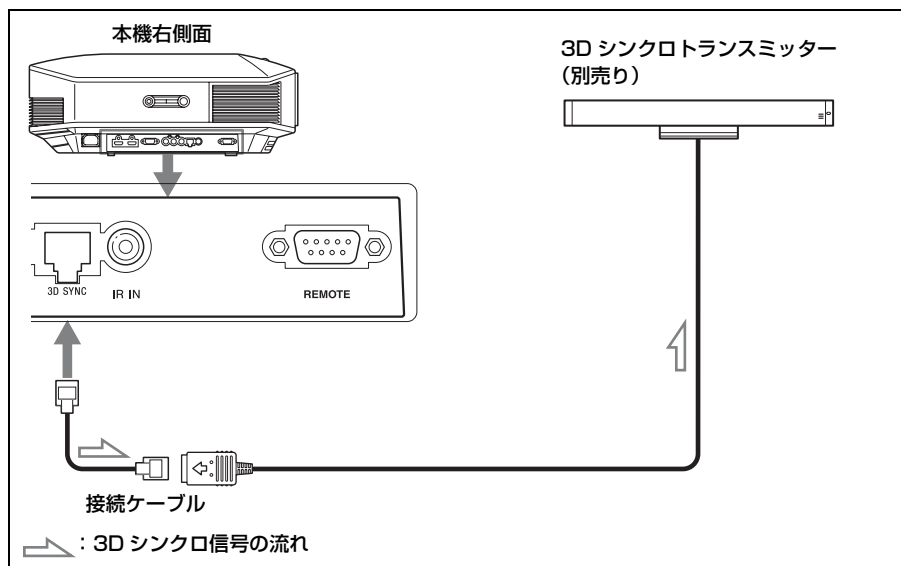


ご注意

- ・ HDMI ケーブルは「High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p、DeepColor、3D の映像が正しく表示できない場合があります。
- ・ HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- ・ ノート型のパソコンで、出力信号をパソコンの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、本機に正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターのみに信号が出力されるように、パソコンを設定してください。パソコンの設定については、パソコンのメーカーへお問い合わせください。
- ・ HDMI ケーブルでつないだ機器の映像がきれいに映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。

3D シンクロトランスミッターをつなぐ

本機の設置環境によっては、本機に内蔵されている 3D シンクロトランスミッターからの信号を 3D メガネが正しく受信できない場合があります。その場合は、別売りの 3D シンクロトランスミッターを視聴位置の近くに設置することで、3D 映像をお楽しみいただけます。



ちょっと一言

3D シンクロトランスミッターは、3D メガネに直接向けるように設置してください。また、3D メガネが安定して動作するように、視聴する場所のそばに置くことをおすすめします。

ご注意

- ・ 3D SYNC 端子は 3D シンクロトランスミッター専用の端子です。ネットワークや他の機器は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ 市販の LAN ケーブル（ストレートタイプ）を使用することで、3D シンクロトランスミッターを本機から離して使うことができます。

特定の周波数の妨害波が連続的に発生する環境では、まれに 3D 映像と 3D メガネの同期がはずれることがあります。

妨害波によって同期がはずれる場合は、カテゴリー 7 と記載されたケーブルをご使用ください。

さらに妨害波の多い環境下で 3D 映像をご覧になる場合は、本機に内蔵のトランスミッターのご使用をおすすめします。

- ・ ケーブルは 15m 以下のものを使用し、中継アダプターなどを使用して延長しないでください。また、LAN ケーブルはできるだけ AC コードから離して接続してください。

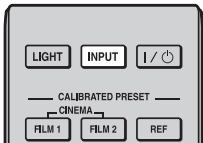
- ・ 接続できる 3D シンクロトランスミッターは 1 台です。複数を接続した場合、故障の原因となることがあります。
- ・ 3D シンクロトランスミッターを接続しているとき、本機前面に内蔵されている 3D シンクロトランスミッターはオフになります。両方を同時に使用することはできません。

見る

この章では、本機につないだ DVD プレーヤーなどの映像をスクリーンに映して見たときの操作を説明します。また、お好みに合わせた画質でご覧になる操作も説明しています。

映像を投写する

- 1 本機と、本機に接続した機器の電源を入れる。
- 2 INPUT ボタンを押して、スクリーンに入力選択パレットを表示させる。



- 3 スクリーンに映したい機器を選ぶ。

INPUT ボタンを繰り返し押すか、
↑/↓/ (決定) ボタンで映したい機器を選びます。



例：本機の HDMI 1 端子につないだビデオの映像を見る

画像を見たい機器	選択する画面表示
本機の INPUT A 端子につないだ機器	入力 A

画像を見たい機器	選択する画面表示
本機の Y Pb/Cb Pr/Cr 端子につないだ機器	コンポーネント
本機の HDMI 1 端子につないだ機器	HDMI 1
本機の HDMI 2 端子につないだ機器	HDMI 2

ちょっと一言

- ・「 機能設定」メニューの「オート入力サーチ」が「入」に設定されている場合は、入力選択パレットには現在入力信号のある入力だけが表示されます。
- ・「 初期設定」メニューの「画面表示」が「切」に設定されている場合は、入力選択パレットは表示されません。INPUT ボタンを押すと、順に入力端子が切り換わります。
- ・「 機能設定」メニューの「HDMI 機器制御」が「入」に設定されている場合は、HDMI 1 端子または HDMI 2 端子につないだ機器の操作と連動して、自動的に入力端子に切り換わります。ただし、つないだ機器が HDMI 機器制御に対応している場合に限りです。
- ・メニュー画面やメッセージなどの表示言語は、「 初期設定」メニューの「表示言語」で変更することができます。(p. 41 ページ)

電源を切る

1 I/O (オン/スタンバイ) スイッチを押す。

「パワーオフしますか？」というメッセージが表示されます。

2 メッセージが消える前に I/O (オン/スタンバイ) スイッチをもう一度押す。

ON/STANDBY ランプが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめは早い間隔で点滅します。この間は再び I/O (オン/スタンバイ) スイッチを押しても光源用ランプは点灯しません。

ファンが止まり、ON/STANDBY ランプが緑色の点滅から赤色の点灯に変わります。

以上で電源が切れました。電源コードを抜くことができます。

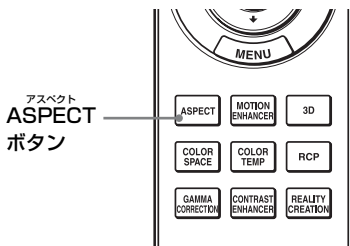
ご注意

ランプの点滅中は、電源コードを抜かないでください。

上記の手順のかわりに I/O (オン/スタンバイ) スイッチを約 1 秒押したままにしても電源が切れます。

映像に合わせてアスペクト比を切り換える

お好みのアスペクト比を選べます。

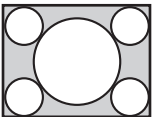
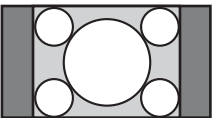
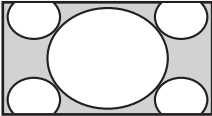
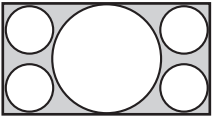


ASPECT ボタンを押す。

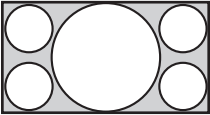
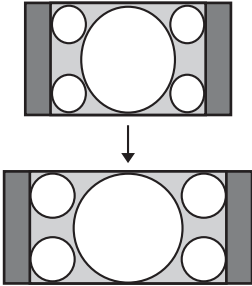
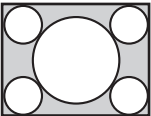
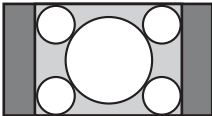
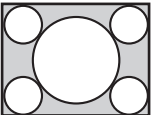
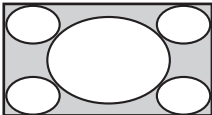
押すたびに、「アスペクト」の設定が順次切り換わります。

メニューでも選べます。(㊦ 38 ページ)

見る

オリジナル映像	おススメの設定とそのときに投写される映像
 1.33:1 (4:3)  サイドパネル付き 1.33:1 (4:3)	「ワイドズーム」(SD 信号入力時) 
 レターボックス付き 1.33:1 (4:3)	「ズーム」(SD 信号入力時) 

オリジナル映像	おすすめの設定とそのときに投写される映像
1.78:1 (16:9) 1.33:1 (4:3) サイドパネル付き 1.33:1 (4:3)	「ノーマル」
スクイーズ	「ストレッチ」
2.35:1	「V ストレッチ」 アナモフィックレンズをお使いの場合

オリジナル映像	おすすめの設定とそのときに投写される映像
 16:9	「スクイーズ」  アナモフィックレンズをお使いの場合
	「ノーマル」（コンピューター信号入力時） 
	「フル」（コンピューター信号入力時） 

ご注意

- ・入力信号によって、選択できる項目が異なります。
- ・「 スクリーン設定」メニューの「画面位置 上下」、「縦サイズ」は、「アスペクト」で「ズーム」に設定したときのみ調整できます。（ 39 ページ）

アスペクト切替時のご注意

- ・テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご注意してアスペクトを選択してください。
- ・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト切り換え機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

3D 映像を楽しむ

本機では 3D メガネを使って、3D テレビゲームや 3D ブルーレイディスクなどの迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

1 接続した 3D 対応の HDMI 機器の電源を入れ、3D コンテンツを再生する。

3D コンテンツの再生方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源を入れ、スクリーンに 3D 映像を映す。

映像の映しかたについて詳しくは、「映像を投写する」(㊦ 17 ページ)をご覧ください。

3 3D メガネの電源を入れ、3D メガネを正しく装着する。

3D メガネの使いかたについて詳しくは、3D メガネの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- ・本機は、3D 信号を検出したときに自動的に 3D 映像を映すよう、お買い上げ時に「2D-3D 表示選択」を「オート」に設定しています。
- ・3D 映像を 2D 映像でご覧になりたいときは、「2D-3D 表示選択」を「2D」に設定してください。(㊦ 43 ページ)

ご注意

- ・信号の種類によっては、自動的に 3D 映像は表示されません。視聴する映像の 3D フォーマットを確認して「2D-3D 表示選択」を「3D」に、「3D フォーマット」を「左右分割方式」または「上下分割方式」に設定してください。(㊦ 43 ページ)
- ・3D メガネの受信範囲をご確認のうえ、ご使用ください。(㊦ 23 ページ)
- ・3D 映像は HDMI 入力のかのみ見ることができます。ブルーレイディスク (BD) プレーヤーやゲーム機などの 3D 機器は、HDMI ケーブルで接続してください。
- ・3D 映像の見えかたには個人差があります。
- ・使用環境の温度が低いときは、3D 効果が出にくいことがあります。

3D の調整や設定をメニュー画面で行う

リモコンの 3D ボタンを押して「 機能設定」メニューの「3D 設定」を開き、3D の調整や設定ができます。詳しくは、「3D 設定」をご覧ください。(㊦ 43 ページ)

シミュレーテッド 3D 機能を使う

通常の 2D 映像を 3D 映像に変換することができます。

ちょっと一言

メニュー画面の操作のしかたについて詳しくは、「メニュー操作のしかた」(㊚ 29 ページ)をご覧ください。

- 1 「 機能設定」メニューを表示し、「3D 設定」を選ぶ。
- 2 「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定し、➡を押して「3D フォーマット」を表示させる。
- 3 「3D フォーマット」を「シミュレーテッド 3D」に設定する。(㊚ 43 ページ)

で注意

- ・映像のソースによっては「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定できません。対応している 3D 信号については「対応 3D 信号一覧」(㊚ 74 ページ)をご覧ください。
- ・映像のソースによっては 3D 効果が現れにくいことがあります。
- ・シミュレーテッド 3D 機能による 3D 映像の見えかたには個人差があります。

3D メガネの動作範囲

以下の図 A、図 B は、3D メガネの動作範囲の目安です。動作範囲を超えた距離で視聴したり、プロジェクターを設置したりすると 3D メガネは動作しにくくなります。また、角度と距離は部屋の環境やスクリーンの種類、本機の設置状況によって異なります。

図 A：3D メガネの動作範囲（スクリーンからの距離）

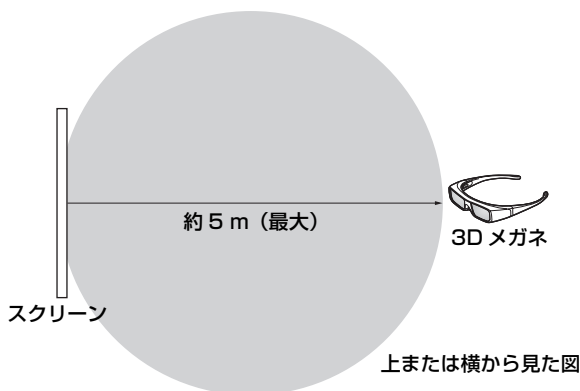
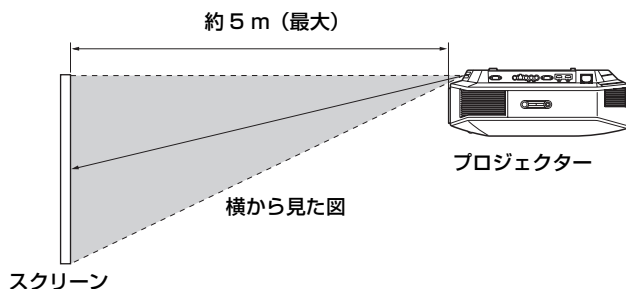


図 B：3D シンクロ信号が到達可能なプロジェクターとスクリーンの距離

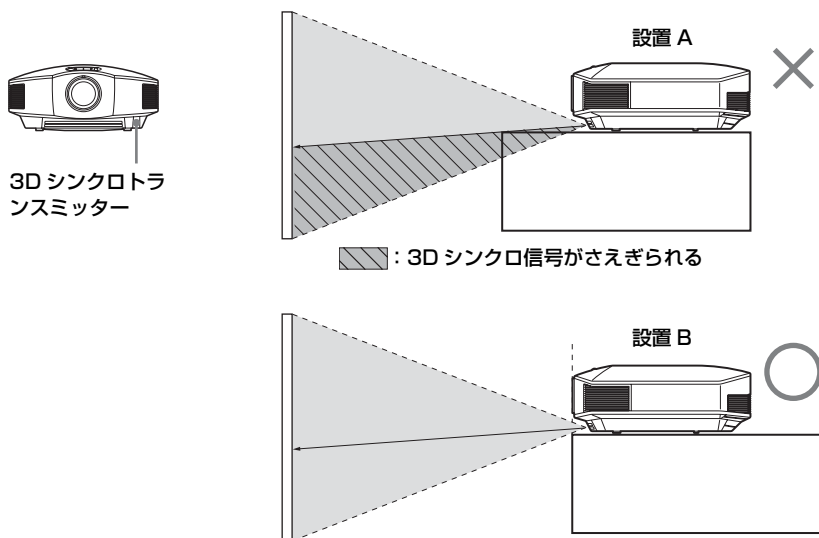


ご注意

3D シンクロ信号は、本機前面の 3D シンクロトランスミッターからスクリーンに向けて投射されます。(図 C)

本機の前方に障害物があるなど、設置条件によっては 3D シンクロ信号がスクリーンに届かない場合があります。

図 C



天井りではない状態で下方へ投射する場合、奥まったところに配置すると 3D シンクロトランスミッターの信号がスクリーンに適切に当たらず、3D メガネが正常に動作しくなります。(設置 A)

レンズ面を台座端面より奥にならないように配置してください。(設置 B)

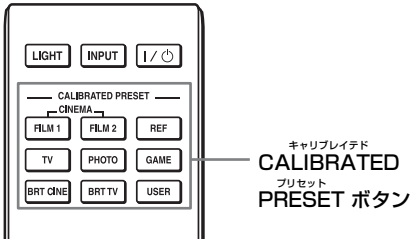
または別売りの 3D シンクロトランスミッターをご使用ください。(P. 15 ページ)

画質を選ぶ

使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。

各プリセットモードは、2D / 3D それぞれで異なる設定を保存、使用することができます。

CALIBRATED PRESET ボタンを押す。

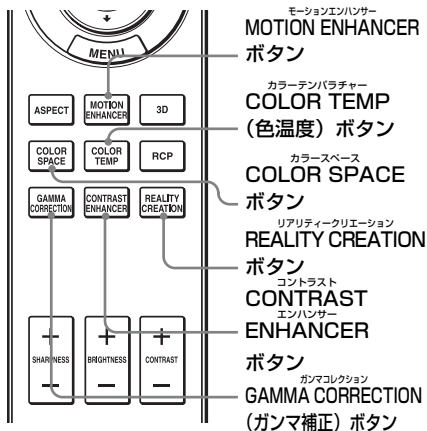


設定モード	説明
CINEMA FILM1 (シネマ フィルム 1)	最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定
CINEMA FILM2 (シネマ フィルム 2)	FILM1 をベースに色調を変え、実際の映画館の映像美を再現する画質設定
REF (リファレンス)	コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定
TV (TV)	テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定
PHOTO (フォト)	デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定
GAME (ゲーム)	ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定
BRT CINE (ブライトシネマ)	リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定
BRT TV (ブライトTV)	リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定
USER (ユーザー)	お好みに合わせた画質に調整、設定し保存。お買い上げ時は「リファレンス」と同じ設定

お好みの画質に調整する

リモコンのボタンで、簡単にお好みの画質に調整できます。また、各ピクチャプリセットごとに、調整した画質を記憶させることができます。

ダイレクトに項目を選んで調整する



次の項目がリモコンのボタンで調整できます。

「モーションエンハンサー」

「色温度」

「カラースペース」

「コントラストエンハンサー」

「リアリティークリエーション」

「ガンマ補正」

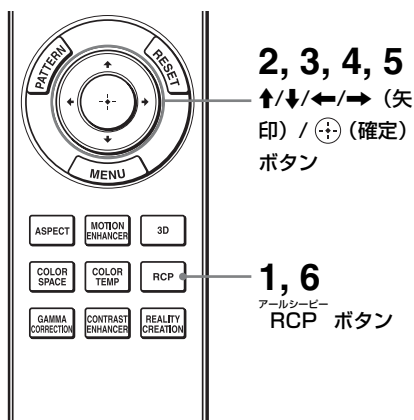
選んだ項目のボタンを繰り返し押して、お好みの画質に調整してください。各項目について詳しくは、「画質設定メニュー」(P. 32 ページ)をご覧ください。

より細かく画質を調整する（リアルカラープロセッシング）

調整したい色を細かく選び、選んだ色ごとにお好みの色あい、色の濃さ、明るさを調整することができます。よりリアルできめ細かいお好みの画像を映すことができます。

ちょっと一言

調整したい色のあるシーンで、入力機器の映像を一時停止して調整を行ってください。



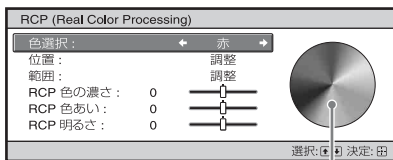
2, 3, 4, 5
↑/↓/←/→ (矢印) / ⊕ (確定) ボタン

1, 6
アールシービー RCP ボタン

1 RCP（リアルカラープロセッシング）ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンを押して、「ユーザー 1」を選び、→ ボタンを押す。

RCP 調整画面が画面下に表示されます。



補正パレット

3 調整したい色を選ぶ。

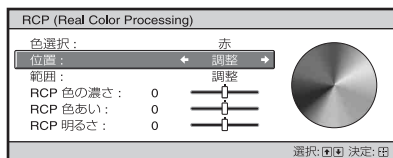
下記の ①、② を繰り返して調整したい色を決めます。

① ↑/↓ ボタンで「色選択」を選び、←/→ ボタンで、調整したい色を「赤」、「黄」、「緑」、「シアン」、「青」、「マゼンタ」から選ぶ。

投影画面の中で、選んだ色に対応する部分のみ色が表示され、それ以外は白黒で表示されます。RCP 調整画面の補正パレットにも選んだ色のみ表示されます。

補正パレットを目安に、投影画面の色を見ながら調整する色を選んでください。

② ↑/↓ ボタンで「位置」または「範囲」を選び、←/→ ボタンで調整したい色の位置と色の範囲を細かく絞り込む。



4 選択した部分の色を調整する。

↑/↓ ボタンで「RCP 色の濃さ」、
「RCP 色あい」または「RCP 明る
さ」を選び、投影画面を見ながら
←/→ ボタンでお好みの色になる
ように調整します。このとき、白黒
表示は解除され通常の投影画面にな
ります。

5 調整が終わったら、⊕ ボタンを押 す。

RCP 調整画面が消えて手順 2 の画
面に戻ります。

ちょっと一言

位置や範囲調整には制限があります。

6 RCP ボタンを押す。

メニュー画面で調整や設定をする

この章では、メニュー画面で画質を細かく調整したり、画面の位置やサイズ、ゆがみを調整するなどの操作を説明しています。

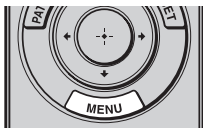
で注意

説明で使用している画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。あらかじめご了承ください。

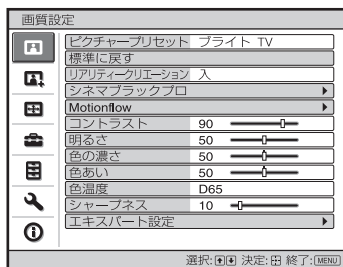
メニュー操作のしかた

本機では、入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選んだ調整／設定項目によって、ポップアップメニューで表示されるもの、メニュー画面を消して設定メニューや調整メニューで表示されるもの、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。

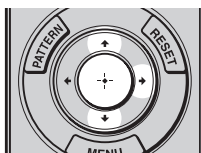
1 MENU ボタンを押す。



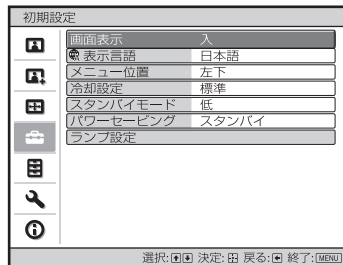
メニュー画面が表示されます。



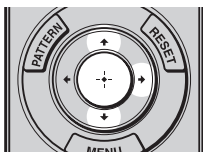
2 ↑/↓ ボタンを押してメニュー項目を選び、→ または ⬇️ ボタンを押す。



調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が白色で表示されます。



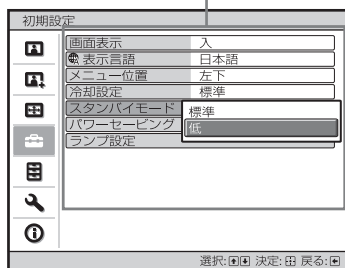
3 ↑/↓ ボタンを押して設定したい項目を選び、→ または ⇄ ボタンを押す。



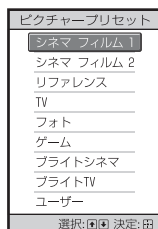
設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー

設定できる項目



設定メニュー



調整メニュー



次の階層に表示された画面
設定できる項目



4 調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合は

数値を大きくしたいときは、↑/→ ボタンを押す。⇄ ボタンを押すと設定が確定し、元のメニュー画面に戻ります。

数値を小さくしたいときは、↓/← ボタンを押す。⇄ ボタンを押すと元のメニュー画面に戻ります。

設定を変更する項目の場合は

↑/↓ ボタンを押して設定を選ぶ。

⇄ ボタンを押すと元のメニュー画面に戻ります。ただし項目によっては ← ボタンでも元の画面に戻ります。

調整できない項目について

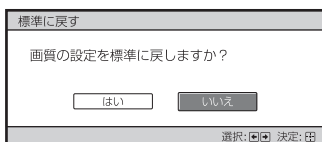
入力する信号の種類によって、調整／設定できる項目が異なります。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。(72 ページ)

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押す。

調整した画質をお買い上げ時の値に戻すには

「 画質設定」メニューから「標準に戻す」を選択する。



画面表示されたら ← ボタンで「はい」を選択して  ボタンを押す。

次の全項目の設定値がお買い上げ時の値に戻ります。

「 画質設定」メニューの「リアリティークリエーション」、「シネマブラックプロ」、「Motionflow」、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「色温度」、「シャープネス」および「エキスパート設定」の各項目

調整、設定した項目をお買い上げ時の値に戻すには

メニュー画面で項目を選び、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューを表示する。

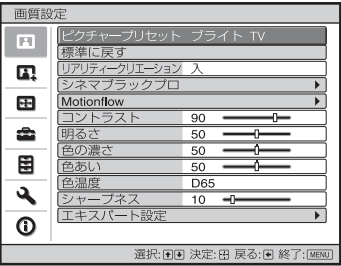
リモコンの RESET ボタンを押すと、選択した項目のみお買い上げ時の値に戻ります。

ご注意

リモコンの RESET ボタンは、調整メニューまたは設定メニューが選択されている状態でのみ有効です。

画質設定メニュー

画質を調整するメニューです。



ご注意

入力する信号の種類によっては、調整／設定できない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」(P. 72 ページ) をご覧ください。

[] 内の項目名はリモコン記載の名称です。

ピクチャー プリセット [CALIBRATED PRESET]	使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。 各プリセットモードは、2D / 3D それぞれで異なる設定を保存、使用することができます。 「シネマ フィルム 1」：最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定です。 「シネマ フィルム 2」：FILM1 をベースに色調を変え、実際の映画館の映像美を再現する画質設定です。 「リファレンス」：コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定です。 「TV」：テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定です。 「フォト」：デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定です。 「ゲーム」：ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定です。 「ブライトシネマ」：リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定です。
--	--

ピクチャー プリセット [CALIBRATED PRESET]	「ブライト TV」：リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像を見るのに適した画質設定です。 「ユーザー」：お好みに合わせた画質に調整、設定し、保存できます。お買い上げ時は「リファレンス」と同じ設定になっています。 ちょっと一言 画質を調整した場合はその設定が入力端子ごとに保存されます。
標準に戻す	現在選択しているプリセットモードの設定を、すべてお買い上げ時の設定に戻します。(☞ 31 ページ) ちょっと一言 「色温度」のカスタム 5 の調整値は保持されます。カスタム 5 のゲイン、バイアスをリセットする場合は、ゲイン、バイアスの調整画面を出して、リモコンの RESET ボタンで行ってください。
リアリティー クリエーション [REALITY CREATION]	精細度とノイズ処理を調整してリアルな画像にします。(超解像機能) 「入」：精細度とノイズ処理の効果を変更できます。 「精細度」：設定値を上げると、質感やディテール感が向上し、鮮鋭感のある映像になります。 「ノイズ処理」：設定値を上げると、ザラツキ等のノイズが目立たなくなります。 「入 / 切 比較」：「入」「切」が一定周期で切り換わり、リアリティークリエーションの効果を確認することができます。 ちょっと一言 比較中のステータスの表示位置は「メニュー位置」(☞ 41 ページ) の設定に連動します。 「切」：リアリティークリエーション機能を使用しません。
シネマブラック プロ	ランプコントロール ランプ出力を切り換えます。 「高」：輝度が上がり、明るい画面になります。 「低」：輝度が下がり、明るさを抑え黒を引き締めます。 ちょっと一言 「低」にするとファンの回転音や消費電力が下がり、またランプの寿命を延ばすことができます。

Motionflow	フィルムプロジェクション フィルム投影映像描写を再現します。 ご使用になるコンテンツやお好みに応じて使い分けてください。 「入」：残像感を低減させます。 「切」：「入」よりも残像感の低減効果は減りますが、明るい画質になります。 モーションエンハンサー [MOTION ENHANCER] 動きの速い映像を、残像感を少なく、なめらかに再現します。 「強」：「弱」よりなめらかな画質になります。 「弱」：なめらかな画質設定です。 「切」：モーションエンハンサー機能をオフにします。 ちょっと一言 シーンによっては、画像にデジタル特有のノイズが出る場合がありますので、その場合は「オフ」にしてください。
コントラスト [CONTRAST]	映像のコントラストを調整します。 設定値を大きくすると映像のメリハリが強くなり、小さくすると弱くなります。 リモコンの CONTRAST+ / - ボタンで調整できます。
明るさ [BRIGHTNESS]	映像の明るさ（輝度）を調整します。 設定値を大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。 リモコンの BRIGHTNESS+ / - ボタンで調整できます。
色の濃さ	色の濃さを調整します。 設定値を大きくすると濃くなり、小さくすると薄くなります。
色あい	色あいを調整します。 設定値を大きくすると緑がかり、小さくすると赤みがかります。
色温度 [COLOR TEMP]	色温度を調整します。 「D93」：一部のテレビで標準的に用いられる 9,300 K 相当の色温度です。 白い部分が青みがかった冷たい色調になります。 「D75」：補助標準光とされる 7,500 K 相当の色温度です。 「D93」と「D65」の中間の色調になります。 「D65」：標準光とされる 6,500 K 相当の色温度です。 白い部分が赤みがかった暖かい色調になります。 「D55」：補助標準光とされる 5,500 K 相当の色温度です。 白い部分がさらに赤みがかった暖かい色調になります。 カスタム 5：明るさを優先した設定です。 好みに合わせた色温度を調整、設定、保存できます。RGB のゲインとバイアスを調整することができます。

シャープネス [SHARPNESS]	映像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを目立たなくします。 設定値を大きくすると輪郭がくっきりし、小さくすると柔らかくなりノイズを目立たなくします。 リモコンの SHARPNESS+ / - ボタンで調整できます。
エキスパート 設定	NR（ノイズリダクション） 映像のざらつきやノイズを低減します。 通常は「切」でお使いください。 ノイズが気になる場合、「弱」、「中」、「強」からソースに応じて選んでください。
	MPEG NR（MPEG ノイズリダクション） デジタル特有のブロックノイズやモスキートノイズを低減します。 通常は「切」でお使いください。 ノイズが気になる場合、「弱」、「中」、「強」からソースに応じて選んでください。
	フィルムモード 映像の素材にあわせて、再生する方法を設定します。 「オート 1」： 映画オリジナルの動きを再現するのに適しています。 通常は「オート 1」のままお使いください。 「オート 2」： 映画ソフトなど 2-3、2-2 プルダウン方式の素材を自動で検出して、なめらかな動きで再現します。また、2-3、2-2 プルダウン方式以外の素材の場合は、プログレッシブ再生します。 「切」： 上記自動検出を行わず、プログレッシブ再生のみ行います。
	コントラストエンハンサー [CONTRAST ENHANCER] シーンに応じた最適なコントラストが得られるよう、明部・暗部のレベルを自動的に補正します。 映像のメリハリが増し、躍動感のある映像になります。 「強」、「中」、「弱」： コントラストエンハンサーの効果を変更できます。 「切」： コントラストエンハンサー機能をオフにします。

エキスパート 設定	ガンマ補正 [GAMMA CORRECTION] 補正映像の階調の応答特性を設定します。 好みに合わせて 6 通りの階調の中から選択できます。 「2.0」： 明 全体的に明るい映像になります。 「2.2」 ↑↓ 「2.4」： 暗 全体的に暗い映像になります。 「ガンマ 8」：メリハリのある画質になります。リビングルームなどの少し明るめの環境でご覧になる場合に選択してください。 「ガンマ 9」：「ガンマ 8」をより明るくした画質になります。 「ガンマ 10」：メリハリのある画質になります。リビングルームなどの少し明るめの環境でテレビ番組などをご覧になる場合に選択してください。 「切」：ガンマ補正を行いません。
	x.v.Color x.v.Color 映像信号を再生する場合に設定します。 x.v.Color に対応した機器をつないで、x.v.Color 映像信号を再生するときは、「入」に設定します。 x.v.Color について詳しくは、「x.v.Color (エックスバイ・カラー) について」(P. 53 ページ) をご覧ください。 ちょっと一言 x.v.Color が「入」のときは、ガンマ補正は調整できません。
	カラースペース [COLOR SPACE] 色空間を切り換えます。 「BT.709」：ハイビジョン放送やブルーレイディスクに用いられる HDTV 規格 ITU-R BT.709 の色空間です。sRGB と同等の色空間となります。 「カラースペース 1」：テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した色空間です。 「カラースペース 2」：リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像を見るのに適した色空間です。 「カラースペース 3」：映画を見るのに適した色空間です。

画質詳細設定メニュー

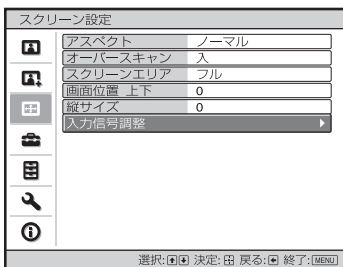
さらに詳細に画質を調整するメニューです。



RCP (リアルカラー プロセッシング)	選択した色ごとに好みの色あい、色の濃さ、明るさに調整できます。 「ユーザー 1」：リアルカラープロセッシングを使った調整をし、保存できます。保存したあと、設定した画質で映像を映すことができます。 「切」：調整しません。 詳しい調整のしかたは、「より細かく画質を調整する（リアルカラープロセッシング）」をご覧ください。(P. 27 ページ)
----------------------------	---

スクリーン設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。
画面のサイズやアスペクト切り換えなどを調整できます。



ご注意

入力する信号の種類によっては、調整／設定できない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」(P. 72 ページ) をご覧ください。

[] 内の項目名はリモコン記載の名称です。

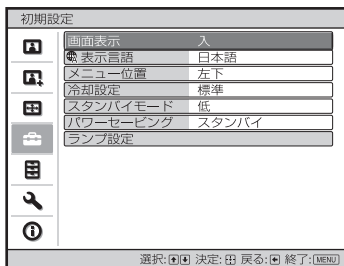
アスペクト [ASPECT]	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。(P. 19 ページ) 「ワイドズーム」：4:3 の映像を違和感少なく画面いっぱいに映します。上下が少し切れます。 「ズーム」：4:3 の映像をスクリーンいっぱいになるように縦横比を変えずに映します。上下が切れます。レターボックス付きの映像などに適しています。 字幕付きの映画などで字幕部分が隠れて見えない場合は、「縦サイズ」および「画面位置 上下」で調整し、字幕を表示させます。(P. 39 ページ) 「ノーマル」：入力映像の縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。 16:9、4:3 映像におすすめの設定です。 「ストレッチ」：4:3 にスクイーズされた映像を 16:9 の縦横比で映します。 「V ストレッチ」：2.35:1 の映像を 16:9 に変換して映します。市販のアナモフィックレンズをお使いの場合に最適なモードです。
--------------------------	---

アスペクト [ASPECT]	「スクイーズ」：市販のアナモフィックレンズを用いて、16:9 や 4:3 の映像を見る場合に、正しい縦横比で映します。 「フル」：オリジナル映像を画面いっぱいに映します。入力信号がコンピュータ信号のときのみ選択できます。 ご注意 ・入力信号がコンピュータ信号のときは、「ノーマル」および「フル」のみ選択できます。 ・入力信号が 3D 信号のときや「 機能設定」メニューの「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定しているときは、「ノーマル」または「スクイーズ」のみ選択できます。
オーバー スキャン	映像の周囲を隠します。 「入」：入力映像の周囲を表示しません。映像の端にノイズなどが見えるような場合にはこちらに設定します。 「切」：入力映像をすべて表示します。 ちょっと一言 画面の上下左右の表示領域を調整するときは「 設置設定」メニューの「ブランキング」(P. 48 ページ)をご覧ください。
スクリーン エリア	ハイビジョン映像をオーバースキャンした場合の映像の大きさを選択します。 「フル」：画面いっぱいに拡大します。 「スルー」：画面いっぱいに拡大しません。
画面位置 上下	映像全体を上下に移動させて調整します。 数値が大きくなると画面が上に動き、小さくなると下に動きます。
縦サイズ	映像を縦方向に拡大もしくは縮小します。 数値を大きくすると拡大され、小さくすると縮小されます。字幕付き映画などに表示されている字幕が見えない場合などに「画面位置 上下」と組み合わせて使用します。

入力信号調整	入力信号を調整します。 「APA（オートピクセルアライメント）」：コンピューター信号入力時、映像信号にあった位置にフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整します。 「フェーズ」：コンピューター信号入力時、画素とコンピューター信号の位相を調整します。一番くっきり見える数値にします。 「ピッチ」：コンピューター信号入力時、画面の水平方向のサイズを調整します。数値が大きくなるとサイズが大きくなり、小さくなるとサイズが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値にあわせます。 「シフト」：画面の位置を調整します。 「H（水平）」：数値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。←/→ ボタンを押して設定します。 「V（垂直）」：数値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。↑/↓ ボタンを押して設定します。
----------------------	---

初期設定メニュー

お買い上げ時の設定などを変更するメニューです。



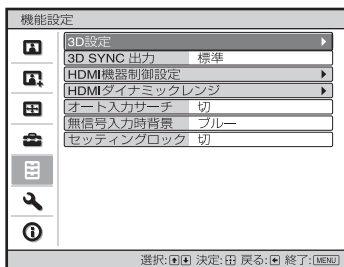
画面表示	メニュー表示などの情報を投影画面に表示するかを設定します。 「切」に設定すると、一部のメニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。
表示言語	メニュー画面やメッセージなどの表示言語を設定します。
メニュー位置	画面上のメニューの表示位置を変えることができます。 「左下」：メニューを画面の左下に表示します。 「中央」：メニューを画面の中央に表示します。
冷却設定	高地で使用の場合に設定します。 「強」：1,500 m 以上の高地で使用の場合はこの位置に設定します。 「標準」：平地での使用の場合はこの位置に設定します。 ご注意 設定を「強」にした場合、ファンの回転数が上がるため、音が少し大きくなります。
スタンバイモード	スタンバイ時の消費電力を少なくします。 「標準」に設定すると、通常の消費電力になります。 「低」に設定すると、スタンバイ時の消費電力を少なくすることができます。 ご注意 設定を「低」にした場合、「HDMI 機器→PJ 電源連動」制御が無効になり、動作しません（メニューにも表示されません）。(P. 45 ページ)

パワー セービング (節電モード)	パワーセービングを設定します。 「ランプオフ」：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、コントロールパネル、またはリモコンのボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY ランプはオレンジ色に点灯します。 (☞ 3 ページ) 「スタンバイ」：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 「切」：パワーセービング機能を無効にします。
ランプ設定	光源用ランプ交換をしたときに、設定します。(☞ 64 ページ)

機能設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。

「3D 設定」メニューはリモコンの 3D ボタンを押して開くことができます。



3D 設定

3D に関する設定を変更できます。

「2D-3D 表示選択」：映像の表示を 2D と 3D に切り換えます。

「オート」：3D 情報が含まれる HDMI 信号を入力したときは 3D で表示し、それ以外の信号のときは 2D で表示します。

「3D」：「3D フォーマット」で選択した 3D 方式で表示します。ただし、3D 情報が含まれる HDMI 信号を入力した場合は、信号に含まれる 3D 情報の形式に従って表示します。

「2D」：常に 2D で表示します。

* 3D 情報とは、3D を識別する付加情報です。HDMI 信号には、3D を識別する付加情報が含まれる信号と、含まれない信号があります。

「3D フォーマット」：「2D-3D 表示選択」の「3D」を選択した状態で、リモコンの ➡ を押すと選択できます。3D 情報を含まない信号を受信したとき、どのフォーマットに従って映像を 3D 表示するかを設定します。

「シミュレーテッド 3D」：通常の 2D 映像を 3D 映像に変換します。HD 信号のときのみ設定可能です。

- ・映像ソースによっては 3D 効果が現れにくい場合があります。
- ・3D 映像の見えかたには個人差があります。

「左右分割方式」：同じような映像が左右に並んで表示されている 3D 方式のときに選ぶと、3D 映像で表示します。

3D 設定	「上下分割方式」：同じような映像が上下に並んで表示されている 3D 方式のときに選ぶと、3D 映像で表示します。 「3D メガネ明るさ」：3D メガネで見る画面の明るさを調整します。「MIN」「1」「2」「3」「MAX」の 5 段階から選択できます。 「3D 奥行き調整」：画面上の 3D 表示の奥行きを調整します。「シミュレーテッド 3D」以外の方式で 3D 表示している場合に調整できます 奥行き感 -2 -1 0 +1 +2 手前 ← 通常 → 奥 通常は「0」がおすすめです。設定によっては 3D として見えにくくなります。 「シミュレーテッド 3D 効果」：2D コンテンツを 3D に変換しているときの 3D 効果を調整します。「強」「中」「弱」の 3 段階から選択できます。 ご注意 ・3D 表示中は、メニュー画面が二重に見える場合があります。その場合は、3D メガネをかけてメニュー画面を操作してください。 ・推奨スクリーンサイズは 100 ～ 120 インチです。これより大きいサイズでご覧になった場合、3D 感が得られないことがあります。
3D SYNC 出力	3D SYNC 端子の出力を変更します。 「標準」：内蔵の 3D シンクロトランスミッターおよび外付け 3D シンクロトランスミッター TMR-PJ2（別売り）に適した出力です。出荷時はこの設定になっています。 「オプション」：TMR-PJ2 以外のトランスミッターを接続する場合にこちらを選びます。 ご注意 「オプション」をご使用の際には、変換ケーブルをご使用ください。「オプション」でご使用になれるトランスミッターは、国・地域によって販売されていないことがあります。

HDMI 機器 制御設定	HDMI 機器制御に関する設定を変更できます。 「HDMI 機器制御」：HDMI 1、2 入力端子に HDMI 制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI 機器制御を有効にするかどうかを設定します。 「入」に設定すると、以下のことができます。 ・ つないでいる HDMI 機器制御対応機器と本機との間で、連動した操作ができるようになります。 ・ 「HDMI 機器制御設定連動」* 対応のソニー製機器（AV アンプやビデオなど）の、HDMI 機器制御設定も連動して有効になります。 「PJ → HDMI 機器電源連動」：本機の電源を切るときに、つないでいる HDMI 機器制御対応機器の電源も連動して切るかどうかを設定します。 「入」に設定すると、本機の電源を切ると機器の電源も連動して切れます。 「HDMI 機器 → PJ 電源連動」：本機の電源を、つないでいる HDMI 機器制御対応機器に連動させることができます。 「入」に設定すると、つないだ機器の電源を入れたり再生などの操作をすると、本機の電源も自動的に入ります。 ご注意 「入」にする場合は、「 初期設定」メニューの「スタンバイモード」（ 41 ページ）を「標準」に設定してから、「HDMI 機器 → PJ 電源連動」を「入」にしてください。詳しくは「HDMI 機器制御について」（ 52 ページ）をご覧ください。
-------------------------	--

HDMI 機器 制御設定	「HDMI 機器一覧」：つないでいる HDMI 機器制御対応機器を一覧表示します。 「有効にする」を選ぶと、「HDMI 機器制御設定連動」* 対応のソニー製機器（AV アンプやビデオなど）の、HDMI 機器制御設定も有効になります。 *「HDMI 機器制御設定連動」は、本機の HDMI 機器制御設定を有効にすると、HDMI 入力端子につないだ機器の HDMI 機器制御設定も有効にする機能です。ソニー製の対応機器との間でのみ動作する機能で、機器によっては対応していない場合もあります。また、ソニー以外の機器でも対応する場合がありますが、機能を 100%保証するものではありません。
HDMI ダイナ ミックレンジ	HDMI 1、2 端子の映像入力レベルを設定します。 「オート」：自動で映像入力レベルを判別します。 「リミテッド」：映像入力レベルが、16-235 のときに設定します。 「フル」：映像入力レベルが、0-255 のときに設定します ご注意 HDMI 接続機器の映像出力設定が合っていないと、明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。
オート入力 サーチ	入力信号のない入力端子を表示させません。 「入」に設定すると、INPUT ボタンを押したとき表示される入力端子選択パレットには、入力信号のない端子は表示されません。 すべての入力端子を表示させるときは「切」に設定します。(P. 17 ページ)
無信号入力時 背景	信号が入力されていないときの画面の色を選択できます。 「ブラック」または「ブルー」に設定できます。

セッティングロック	誤って操作することを防ぐために、メニューの調整、または設定項目をロックします。(☞ 47 ページ) 「切」：セッティングロックを解除します。 「レベル A」：メニューの 19 項目の表示を消します。 「レベル B」：「レベル A」に加え、さらに 16 項目の表示を消します。
------------------	---

セッティングロックによってロックされる項目

レベル A、B

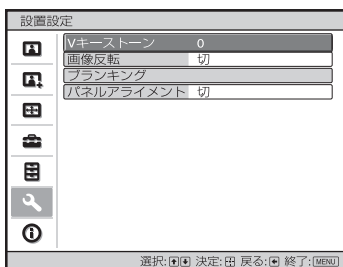
画質設定メニュー	
	・標準に戻す ・リアリティークリエーション ・ランプコントロール ・フィルムプロジェクション ・モーションエンハンサー ・コントラスト ・明るさ ・色の濃さ ・色あい ・色温度 ・シャープネス ・NR ・MPEG NR ・フィルムモード ・コントラストエンハンサー ・ガンマ補正 ・x.v.Color ・カラースペース
画質詳細設定メニュー	
	・RCP

レベル B

初期設定メニュー	
	・画面表示 ・表示言語 ・メニュー位置 ・冷却設定 ・スタンバイモード ・パワーセービング ・ランプ設定
機能設定メニュー	
	・3D SYNC 出力 ・HDMI 機器制御設定 ・HDMI ダイナミックレンジ ・オート入力サーチ ・無信号入力時背景
設置設定メニュー	
	・V キーストーン ・画像反転 ・ブラッキング ・パネルアライメント

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



V キーストーン	投影角度によって画像が台形になってしまった場合に補正します。 画面の上辺より下辺が長い場合（） マイナス方向に数値を設定します。 画面の下辺より上辺が長い場合（） プラス方向に数値を設定します。 ご注意 レンズシフトの調整位置によっては、V キーストーン補正を行うとオリジナル画像の縦横比が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。
画像反転	画像を水平または垂直方向に反転します。 「切」、「上下左右」、「左右」、「上下」に変えます。天井つり設置やスクリーンの裏面投射設置するときなどに使用します。
ブランキング	画面の上下左右の表示領域を調整します。 ↑/↓ ボタンで変更をしたいスクリーンの側面を「左 / 右 / 上 / 下」の中から選択します。 ←/→ ボタンでブランキング量を調整します。 ご注意 「ブランキング」と「V キーストーン」を同時に調整すると、「ブランキング」が正しくかかりません。「ブランキング」を使用する際は、「V キーストーン」を 0 にしてください。

パネルアライメント

文字や映像の色ずれを微調整します。

「入」にすると、「調整色」の指定や「調整パターン色」の指定を行います調整することができます。

「調整アイテム」：調整方法を以下より選択します。

「シフト」：画面全体をシフトして調整します。

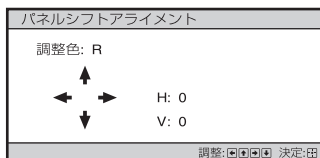
「ゾーン」：調整したい範囲を指定して調整します。

「調整色」：色ずれの気になる色を指定します。「G」（緑）を基準に調整するため、「R」（赤）または「B」（青）を選択します。

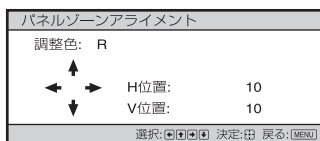
「調整パターン色」：「調整色」が「R」（赤）の場合は、「R/G」（赤と緑）または「R/G/B」（白、全色）を選択します。「調整色」が「B」（青）の場合は、「B/G」（青と緑）または、「R/G/B」（白、全色）を選択します。

「調整」：「調整色」で選択した色のシフト調整およびゾーン調整を、**←/→**、**↑/↓** ボタンで行います。

「シフト」選択時：シフト調整画面で **←/→** ボタンで水平方向（H）、**↑/↓** ボタンで垂直方向（V）の調整量を設定します。



「ゾーン」選択時：調整する位置を、**←/→** ボタンで水平位置（H位置）、**↑/↓** ボタンで垂直位置（V位置）を選択し、**⊕** ボタンを押します。



←/→ ボタンで水平方向（H方向）、**↑/↓** ボタンで垂直方向（V方向）の調整量を設定します。**⊕** ボタンを押すと、調整する位置を再度選択できます。



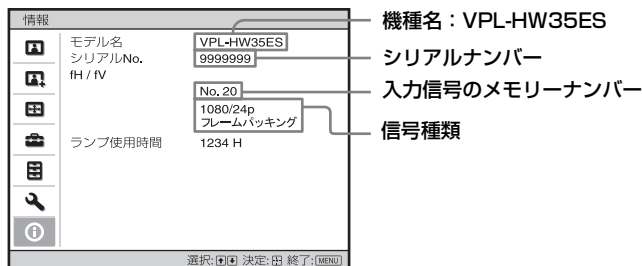
「リセット」：設定がお買い上げの時の値に戻ります。

ご注意

調整値によっては、色付きや解像感に変化が生じる場合があります。

情報メニュー

プロジェクターの機種名、シリアルナンバー、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



モデル名	機種名（VPL-HW35ES）を表示します。
シリアル No.	シリアルナンバーを表示します。
fH（水平周波数）	水平周波数を表示します。
fV（垂直周波数）	垂直周波数を表示します。
メモリーナンバー	入力信号のプリセットメモリーナンバーを表示します。
信号種類	入力信号の解像度を表示します。入力信号に 3D 情報が含まれている場合は、解像度と 3D フォーマットの形式を表示します。
ランプ使用時間	光源用ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

- ・ fH（水平周波数）と fV（垂直周波数）は、お使いの入力信号によっては表示されないことがあります。
- ・ 上記の項目は変更できません。

プリセットメモリーについて

本機では、お買い上げ時に、「プリセット信号一覧」(㊚ 70 ページ)に記載されている信号に対して最適な表示となるよう映像データがあらかじめ設定されています(プリセットメモリー)。これらの信号を入力したときは、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面でスクリーンに映します。「 情報」メニューの画面に入力信号のメモリーナンバーと信号種類が表示されます。

プリセットされたデータを「 スクリーン設定」メニューでさらに調整できます。

また、アナログコンピューター信号の入力用にプリセットメモリーとは別に、20 個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号の設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力されたときは、メモリーナンバー 0 と表示され、「 スクリーン設定」メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が 20 個を超えると、古いデータから順番に上書きされます。

プリセットされている信号についての情報は、「プリセット信号一覧」にあります。(㊚ 70 ページ)

ご注意

縦横比がスクリーンサイズに合わない場合、画面の一部が黒で表示されます。

その他

ここでは、その他の機能や、本機が正常に動かないときに解決する方法、光源用ランプやエアフィルターの交換のしかたなどについて説明します。

HDMI 機器制御について

HDMI 機器制御とは

HDMI 機器制御とは、HDMI で規格化されている HDMI CEC (Consumer Electronics Control) を使った、機器間相互制御の機能です。HDMI 機器制御対応のテレビやプロジェクターに、ハードディスク搭載ブルーレイディスク (BD) プレーヤー/レコーダー、DVD プレーヤー/レコーダー、AV アンプなどを HDMI ケーブルでつなぐだけで、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI 機器制御を使うには

- ・対応機器それぞれで正しい接続と設定をしてください。
- ・対応機器の主電源を切らないでください。
- ・本機で、対応機器を接続した HDMI 入力に切り換えてください。
- ・本機で、対応機器の映像が正常に出ることを確認してください。

対応機器をつなぐ

HDMI ケーブルでつなぎます。接続には、HDMI ロゴがついているものをお使いください。

HDMI 機器制御の設定をする

HDMI 機器制御を使うには、本機とつないだ機器側でそれぞれの設定が必要です。本機の設定については、45 ページをご覧ください。つないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。「HDMI 機器制御設定連動」に対応している機器を HDMI 入力端子につないでいるときは、本機の HDMI 機器制御設定を有効にすると、つないだ機器の HDMI 機器制御設定も有効になります。

HDMI 機器制御でできること

- ・ つないだ機器の電源を入れたり再生などの操作をするだけで、本機の電源が入り、入力も自動で切り換わります。
- ・ 本機の電源を切るだけで、つないだ機器の電源を自動的に切ることができます。

ご注意

- ・ HDMI 機器制御できることは機器によって異なります。それぞれ機器の取扱説明書でご確認ください。
- ・ 同様の機能を搭載した他社製機器との間でも動作する場合がありますが、保証されたものではありません。

x.v.Color (エックス・ブイ・カラー) について

- ・ “x.v.Color” とは、xvYCC 規格に対応し、従来以上の広色域表現が可能な機器に付す名称としてソニーが提案している商標です。
- ・ xvYCC 規格とは、ビデオ映像信号の色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

シミュレーテッド 3D 機能について

- ・ シミュレーテッド 3D 機能を使うと、本機は 2D 映像を 3D 表示へ映像変換を行います。そのため、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、シミュレーテッド 3D 機能をお使いください。
- ・ 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいて、シミュレーテッド機能を利用して 2D 映像を 3D 表示に変換した場合、著作権法上保護されている著作者の権利を害する恐れがあります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう 1 度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	→ I/O (オン/スタンバイ) スイッチで電源を切った後すぐに電源を入れた場合に、電源が入らないことがあります。約 1 分たってから電源を入れてください。 → 光源用ランプカバーをしっかりとめて、ネジをしめてください。(☞ 63 ページ) → フィルターホルダーをしっかりとめてください。(☞ 63 ページ) → 警告ランプを確認してください。(☞ 58 ページ)
突然電源が切れた。	→ 「 初期設定」メニューの「パワーセービング」の設定が「スタンバイ」になっていないか確認してください。(☞ 42 ページ) → 「パワーセービング」を「切」に設定してください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	→ ケーブルの接続を確認してください。(☞ 12 ページ) → INPUT ボタンで入力を正しく選んでください。(☞ 17 ページ) → コンピューターの出力信号を外部モニターから出力するように設定してください。 → コンピューターの出力信号を外部モニターだけに出力するように設定してください。
映像が 2 重に見える。	→ 3D 表示されています。3D メガネを使用してご覧ください。または、「2D-3D 表示選択」を「2D」に設定してください。(☞ 43 ページ)
映像の明るい部分がつぶれたり、文字がかすれる。(HDMI 動画信号入力時)	→ 本機の HDMI ダイナミックレンジを切り換えてください。(☞ 46 ページ)

症状	原因と対処
パソコンをつないだとき、文字がかすれる。(HDMI コンピューター信号入力時)	→ HDMI 規格からはずれた信号が入力されたときに症状が出る場合があります。「  画質設定メニュー」で「シャープネス」を調整するか、「  機能設定」メニューで「HDMI ダイナミックレンジ」を「リミテッド」にしてください。(🔍 35、46 ページ)
画面が暗い。	→ 「  画質設定」メニューで「コントラスト」、「明るさ」を正しく設定してください。(🔍 34 ページ)
画面がぼやける。	→ 画面のフォーカスを合わせてください。(🔍 10 ページ) → 結露が生じました。電源を入れたまま約 2 時間放置してください。
画面がちらつく。	→ コンピューター信号入力の場合は、APA を実行し、入力信号を調整してください。 → 「  スクリーン設定」メニューの「入力信号調整」で「フェーズ」を設定しなおしてください。(🔍 40 ページ)
文字や映像の色ずれが気になる。	→ 「  設置設定」メニューの「パネルアライメント」で調整してください。(🔍 49 ページ)
画面に残像が現れる。	→ 画面の同じ位置にコントラストの強い静止画を長時間表示し続けると、一時的な残像が現れることがあります。いったん電源を切り、しばらくすると残像は自然に消えます。

表示に関する項目

症状	原因と対処
画面表示が出ない。	→ 「  初期設定」メニューで「画面表示」の設定を「入」にしてください。(🔍 41 ページ) → ON/STANDBY ランプが緑に点滅していないか確認してください。点滅しているときは本機が起動途中です。緑色に点灯するまでお待ちください。
画面にモデル名が表示され続ける。または店頭展示モード(デモモード)が表示され続ける。	→ お買い上げ時に本機の展示モードが設定されていることがあります。お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。
入力端子が表示されない。	→ 「  機能設定」メニューで「オート入力サーチ」の設定を「切」にしてください。(🔍 46 ページ)

リモコンに関する項目

症状	原因と対処
リモコンが働かない。	→ 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。 → 電池の ⊕ ⊖ を正しく入れてください。 → リモコン受光部の近くに蛍光灯があると誤動作することがあります。 → 本機のリモコン受光部の位置を確認してください。(☞ 3 ページ) → 別売りの 3D シンクロトランスミッターを使用している場合、3D シンクロトランスミッターを本機のリモコン受光部に向けるとリモコンが動きにくくなることがあります。

3D に関する項目

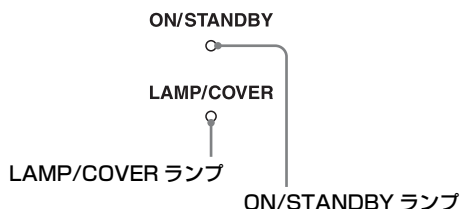
症状	原因と対処
映像が 3D に見えない	→ 3D メガネの電源が入っているか確認してください。 → 3D メガネが充電されているか確認してください。 → 入力が HDMI になっているか確認してください。 → 「2D-3D 表示選択」を「オート」または「3D」に設定してください。(☞ 43 ページ) → 3D 対応の信号か確認してください。(☞ 74 ページ) → 再生する機器の仕様などにより、本機に 3D 信号が入力されない場合があります。その場合は、再生する機器を再起動したり、もう一度再生操作を行ったりしてください。 → 視聴位置または本機の配置がスクリーンから離れすぎている場合は 3D メガネが動作しにくくなります。(☞ 23 ページ) → 別売りの 3D シンクロトランスミッターを使用している場合、正しく配置されているか確認してください。(☞ 15 ページ) → スクリーンサイズが適切でない可能性があります。レンズズームの倍率を小さくするか、スクリーンから離れて視聴してください。(☞ 80 ページ)

その他

症状	原因と対処
ファンの音が気になる。	→ 「冷却設定」を確認してください。(㊦ 41 ページ) → 室温が高くないか確認してください。 → 本機の設置条件を確認してください。 部品の信頼性を保つために、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、音が大きくなります。常温の目安は 25℃ です。
レンズシフトが動かない。	→ レンズシフトは可動範囲を超える方向へは動きません。可動範囲内でご使用ください。(㊦ 10 ページ)
本体と接続機器の電源が連動して ON/OFF したり、再生したりする。	→ 「HDMI 機器制御」、「HDMI 機器 → PJ 電源連動」、「PJ → HDMI 機器電源連動」が「入」になっています。設定を「切」にしてください。 詳しくは「HDMI 機器制御設定」(㊦ 45 ページ)をご覧ください。

警告ランプ

本機では、本体天面の ON/STANDBY ランプと LAMP/COVER ランプの点灯または点滅で不具合をお知らせします。



症状	原因と対処
LAMP/COVER 赤色点滅（2 回点滅パターンの繰り返し）	→ 光源用ランプカバーをしっかりとめて、ネジをしめてください。（㊦ 63 ページ） → フィルターホルダーをしっかりとめてください。（㊦ 64 ページ）
LAMP/COVER 赤色点滅（3 回点滅パターンの繰り返し）	→ 光源用ランプの寿命がきました。光源用ランプを交換してください。（㊦ 61 ページ） → 光源用ランプが高温になっています。光源用ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。
ON/STANDBY 赤色点滅（4 回点滅パターンの繰り返し）	→ ファンが故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。
ON/STANDBY 赤色点滅（2 回点滅パターンの繰り返し）	→ 本体内部が高温になっています。排気口、吸気口がふさがれていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。
ON/STANDBY 赤色点滅（6 回点滅パターンの繰り返し）	→ I/O（オン/スタンバイ）スイッチを押して電源を入れてください。電源が入らない場合は、電源コードを抜いて ON/STANDBY ランプの消灯を確認してください。約 10 秒たってから、電源コードを差してもう一度電源を入れてください。それでもこの状態が続いたら、電気系統が故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

上記以外の警告ランプ点滅ならびに上記対応を行っても解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

メッセージ	意味と対処
「セット内部温度が高いです。1 分後にランプオフします。」	→ 電源を切ってください。 → 排気口、吸気口をふさいでいないか確認してください。
「入力信号の周波数が対応範囲をこえています！」	→ 入力信号の周波数範囲を超えています。対応範囲内の信号を入力してください。(☞ 70 ページ)
「ランプ／フィルターを交換してください。」	→ 光源用ランプの交換時期がきました。光源用ランプを交換してください。(☞ 61 ページ) → 光源用ランプ交換と同時にエアフィルターを交換してください。 また吸気口の掃除を行ってください。(☞ 61 ページ) 光源用ランプ、エアフィルター交換後も表示される場合は、光源用ランプを交換するときの手順を確認してください。(☞ 61 ページ) ご注意 画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコントロールパネルの任意のボタンを 1 回押してください。
「フィルターを掃除してください。」	→ エアフィルターを掃除するときにきました。エアフィルターを掃除してください。(☞ 65 ページ) ご注意 画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコントロールパネルの任意のボタンを 1 回押してください。
「フィルターを掃除してください。掃除しましたか？はい いいえ」	→ エアフィルターを掃除するときにきました。エアフィルターを掃除してください。(☞ 65 ページ) → エアフィルターの掃除が終了している場合、「はい」を選択してください。まだ掃除していない場合、「いいえ」を選択してください。
「本機内部の温度が高くなっていますので、冷却設定を強に切り替えます。高地でご利用の際は、冷却設定は強でお使いください。」	→ 本機の吸排気口が塞がっていないか確認してください。(☞ 3 ページ) → 高地で使用しているときは、冷却設定を「強」にしてください。(☞ 41 ページ) ご注意 機内部温度が下がらないと、1 分後に冷却設定が「強」に切り換わり、ファンの回転数があがります。

メッセージ	意味と対処
「パワーセービングが設定されています。1分後に自動的にランプオフします。」	→ 「パワーセービング」が「ランプオフ」に設定されています。 (☞ 42 ページ) ご注意 入力信号がない場合、1分後にランプがオフします。
「パワーセービングが設定されています。1分後に自動的にスタンバイになります。」	→ 「パワーセービング」が「スタンバイ」に設定されています。 (☞ 42 ページ) ご注意 入力信号がない場合、1分後に電源がオフし、スタンバイ状態となります。

注意メッセージ

メッセージ	意味と対処
x 	→ 選択されている入力端子に何も入力されていません。接続を確認してください。(☞ 12 ページ)
「無効キーが押されました！」	→ 正しいボタンで操作してください。 → 操作を受け付けないボタンを押しました。
「セッティングロック中です。」	→ 「セッティングロック」が「レベル A」または「レベル B」に設定されています。(☞ 47 ページ)

光源用ランプとエア フィルターを交換し 吸気口を掃除する

用意するもの：

- ・ プロジェクターランプ LMP-H202 (別売り)
- ・ 標準プラスドライバー
- ・ 布 (傷防止)

光源用ランプには寿命があります。画面が暗くなったり色がおかしくなった場合、または画面に「ランプ／フィルターを交換してください。」というメッセージが出たときは、光源用ランプが消耗しています。新しい光源用ランプと交換してください。

交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-H202 をお求めください。

プロジェクターランプ LMP-H202 には、エアフィルターが付属されています。光源用ランプを交換するときは、エアフィルターも一緒に交換してください。また、吸気口の掃除も行ってください。

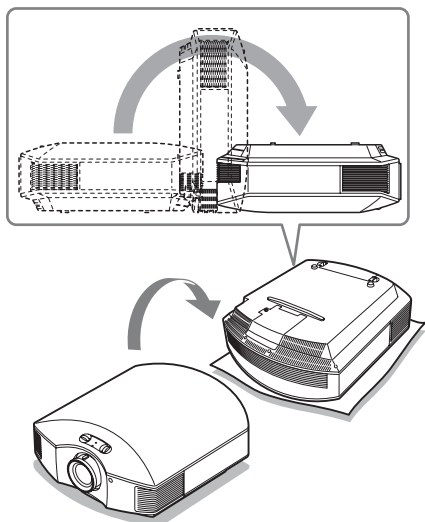
ちょっと一言

光源用ランプの寿命は設置環境や使用状況によって変化することがあります。ランプ点灯直後、数分間以内でのパワーオフを避けることにより、ランプをより長く使っていただくことができます。

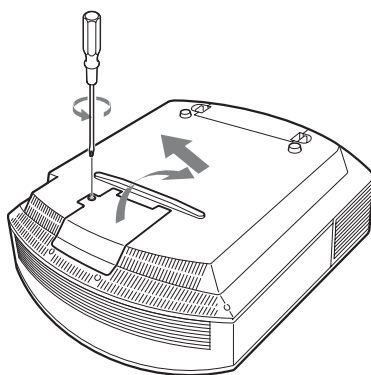
⚠ 警告

- ・ I/O (オン／スタンバイ) スイッチで電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。光源用ランプを十分に冷やすため、光源用ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから 1 時間以上たってから行ってください。
- ・ 交換ランプのガラス面は触らないでください。もし汚れが付着した場合は乾いた柔かい布でふき取ってください。
- ・ 天井つりした状態での光源用ランプ交換は十分注意してください。
- ・ 光源用ランプを取り出すときは、光源用ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。光源用ランプを傾けて持つと、万一光源用ランプが破損した場合に、光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。
- ・ エアフィルターを取りはずすとき、本体内部にゴミなどが入らないよう十分ご注意ください。
- ・ エアフィルターの交換は、プロジェクターの性能の維持、また故障を防ぐという意味からたいへん重要です。交換のメッセージが表示された場合は、すみやかにエアフィルターを交換してください。

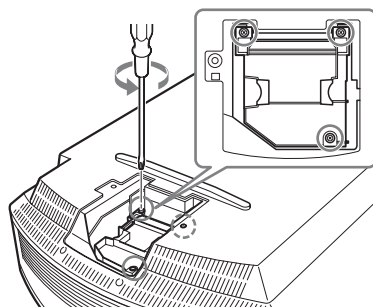
- 1 プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 床置きの場合はプロジェクターや机などに傷がつかないように布などを敷き、図のようにプロジェクターを反転させて布の上に置く。



- 3 光源用ランプカバーを固定しているネジ（1本）をプラスドライバーでゆるめ、光源用ランプカバーを開ける。



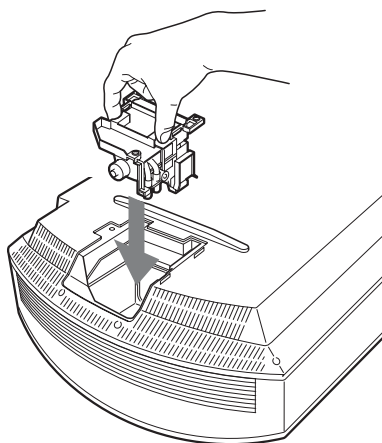
- 4 光源用ランプを固定しているネジ（3本）をプラスドライバーでゆるめ、取っ手を持って光源用ランプを上引き出す。



ご注意

- ・ 光源用ランプが破損している場合は、図のように反転させないと光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となります。
- ・ プロジェクターは不安定な場所には置かないでください。

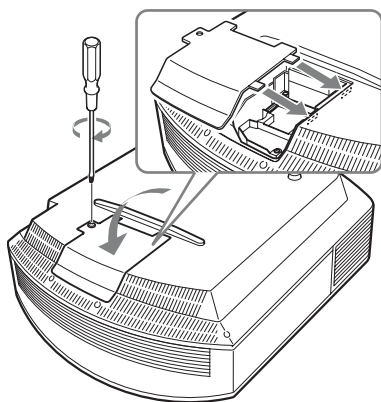
- 5 新しい光源用ランプの取っ手を持って奥まで確実に押し込み、3本のネジを締める。



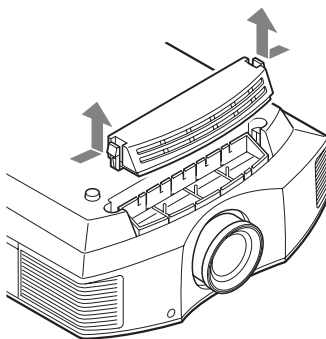
ご注意

光学ブロックには手をふれないでください。

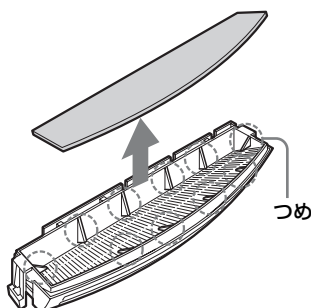
- 6 光源用ランプカバーを閉め、ネジを締める。



- 7 フィルターホルダーをはずす。



- 8 エアフィルターをはずす。



- 9 新しいエアフィルターをフィルターホルダーのつめ（10ヶ所）にはめる。

ご注意

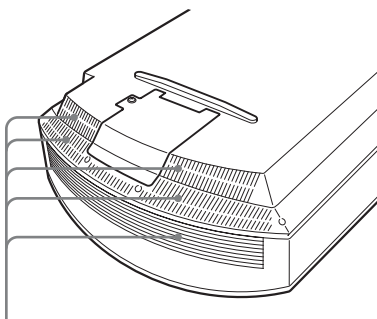
エアフィルターはフィルターホルダーの形状にあわせて取り付けてください。また、エアフィルターを外した後にセットの奥に付いているファンに手をふれないでください。

10 フィルターホルダーを本機に取り付ける。

ご注意

フィルターホルダーがしっかり取り付けられていないと、電源が入りません。

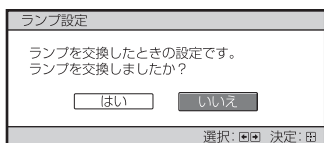
11 吸気口に付着したほこりをやわらかい布でふきとる。



吸気口

12 プロジェクターの向きを元に戻す。

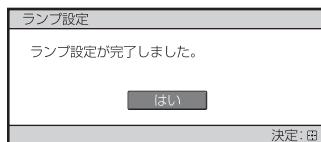
13 プロジェクターの電源を入れ、「初期設定」メニューのランプ設定項目を選択すると、以下のようなメニュー画面が表示されます。



ちょっと一言

「セッティングロック」(P.47 ページ)を「レベルB」に設定している場合は、いったん「切」にします。

14 「はい」を選択します。



警告

光源用ランプをはずしたあとのランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

ご注意

- ・新しい光源用ランプは、必ず交換用ランプ LMP-H202 をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
- ・光源用ランプを交換する前に必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ON/STANDBY ランプの消灯を確認してください。
- ・光源用ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
- ・光源用ランプカバーがしっかり閉まっていないと、電源が入りません。
- ・画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコントロールパネルのいずれかのボタンを押してください。

お願い

本機的光源用ランプの中には水銀が含まれています。使用済みの光源用ランプは、地域の蛍光管の廃棄のルールに従って廃棄してください。

エアフィルターを掃除する

画面に「フィルターを掃除してください。」というメッセージが表示されたら、エアフィルターのクリーニングが必要です。

約 1,500 時間ごとにエアフィルターのクリーニングが必要です。1,500 時間は目安です。使用環境や使い方によって異なります。

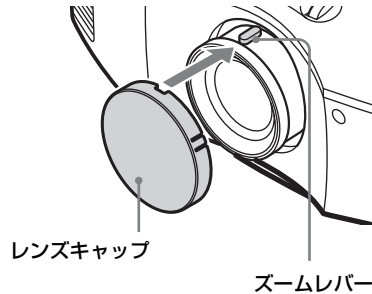
エアフィルターは中性洗剤を薄めた水で洗ってから日陰で乾かしてください。

で注意

- ・ エアフィルターを洗うときは、エアフィルターが破損しないようにしてください。
エアフィルターの取りはずしと取り付け方法は、「光源用ランプとエアフィルターを交換し吸気口を掃除する」手順 7～10 (P. 63～64 ページ) をご覧ください。
- ・ エアフィルターを取りはずすとき、本体内部にゴミなどが入らないよう十分ご注意ください。
- ・ エアフィルターの掃除は、プロジェクターの性能の維持、また故障を防ぐという意味からたいへん重要です。掃除のメッセージが表示された場合は、すみやかにエアフィルターを掃除してください。

レンズキャップを取り付ける

本機にレンズキャップを取り付ける際には、イラストのようにズームレバーにレンズキャップの凹みを合わせてレンズキャップをはめてください。



本機のお手入れについて

レンズ面のお手入れについて

レンズの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- ・ レンズ表面についた汚れは、クリーニングクロスや、メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- ・ アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入り洗剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- ・ 外装の汚れを拭きとるときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。外装の汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- ・ アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。
- ・ 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。

- ・ 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも、長時間使用による消耗部品の交換は有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本取扱説明書に記載しているすべての製品と部品（製品補修用性能部品を含む）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

製品：VPL-HW35ES

製造番号：本体側面または保証書に記載されています。

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店

主な仕様

項目		項目説明
投写方式		SXRD パネル、1 レンズ、3 原色液晶シャッター投写方式
表示素子	有効表示サイズ	0.61 型 (15.4 mm) SXRD パネル
	有効画素数	6,220,800 画素 (2,073,600 × 3)
投写レンズ		1.6 倍ズームレンズ (手動) f18.7 ~ 29.7 mm F2.52 ~ 3.02
光源		高圧水銀ランプ 200 W 型
画面サイズ		40 ~ 300 型 (1,016 mm ~ 7,620 mm)
対応ビデオ信号		480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、 以下はデジタル信号 (HDMI 入力端子) のみ 1080/60p、1080/50p、1080/24p
対応コンピューター信号		fH : 19 ~ 72 kHz fV : 48 ~ 92 Hz 最高解像度 1,920 × 1,080 (HDMI 入力端子のみ) 詳細は、プリセット信号一覧をご覧ください。 (☞ 70 ページ)
映像入力	HDMI (2 系統) HDCP 対応	デジタル RGB/ Y P _B /C _B P _R /C _R
	Y P _B /C _B P _R /C _R	コンポーネント ピンジャック 同期付 Y : 1 V _{p-p} ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 P _B /C _B : 0.7 V _{p-p} ± 2 dB、75 Ω 終端 P _R /C _R : 0.7 V _{p-p} ± 2 dB、75 Ω 終端
	INPUT A	HD D-sub 15 ピン アナログ RGB : R : 0.7 V _{p-p} ± 2 dB、75 Ω 終端 G : 0.7 V _{p-p} ± 2 dB、75 Ω 終端 同期付 G/Y : 1 V _{p-p} ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 B : 0.7 V _{p-p} ± 2 dB、75 Ω 終端 SYNC/HD : 複合同期入力 : TTL レベル、正負極性 水平同期入力 : TTL レベル、正負極性 VD : 垂直同期入力 : TTL レベル、正負極性
その他入出力	REMOTE	RS-232C : D-sub 9 ピン (凹)
	IR IN	ミニジャック
	3D SYNC	RJ45 端子

項目	項目説明
標準外形寸法（幅／高さ／奥行き）	407.4 × 179.2 × 463.9 mm
質量	約 10 kg
電源	AC 100 V、3.0 A、50/60 Hz
消費電力	最大 300 W
待機電力	8 W（スタンバイモード「標準」時） 0.5 W（スタンバイモード「低」時）
使用温度	5℃～35℃
使用湿度	35%～85%（結露なきこと）
保存温度	－20℃～＋60℃
保存湿度	10%～90%
付属品	クイックリファレンスマニュアルの「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリ	プロジェクターランプ：LMP-H202（交換用）
	プロジェクターサスペンションサポート：PSS-H10
	3Dメガネ：TDG-PJ1
	3Dシンクロトランスミッター：TMR-PJ2

ご注意

- ・表示している外形寸法、質量は概寸です。
- ・別売アクセサリの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口を確認してください。
- ・ここに記載されている別売りアクセサリは、2014年2月現在のものです。

本機の仕様、外観および別売りアクセサリは改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

プリセット信号一覧

下記は、本機で投影可能な信号の種類・フォーマットの一覧表です。

これ以外の信号に対しては、正しい投影ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

プリセットメモリーナンバー	プリセット信号 (解像度)		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	ピッチ (Hサイズ)
3	480/60i	480/60i (720 × 480i)	15.734	59.940	SonG/Y または コンボジットシンク	－
4	576/50i	576/50i (720 × 576i)	15.625	50.000	SonG/Y または コンボジットシンク ／コンボジットビデオ	－
5	480/60p	480/60p (倍速 NTSC) (720 × 480p)	31.470	60.000	SonG/Y	－
6	576/50p	576/50p (倍速 PAL) (720 × 576p)	31.250	50.000	SonG/Y	－
7	1080/60i	1080/60i (1920 × 1080i)	33.750	60.000	SonG/Y	－
8	1080/50i	1080/50i (1920 × 1080i)	28.130	50.000	SonG/Y	－
10	720/60p	720/60p (1280 × 720p)	45.000	60.000	SonG/Y	－
11	720/50p	720/50p (1280 × 720p)	37.500	50.000	SonG/Y	－
12	1080/60p	1080/60p (1920 × 1080p)	67.500	60.000	－	－
13	1080/50p	1080/50p (1920 × 1080p)	56.260	50.000	－	－
14	1080/24p	1080/24p (1920 × 1080p)	26.973	23.976	－	－
18	720/60p (Frame packing)	720/60p (1280 × 720p)	90.000	60.000	－	－
19	720/50p (Frame packing)	720/50p (1280 × 720p)	75.000	50.000	－	－
20	1080/24p (Frame packing)	1080/24p (1920 × 1080p)	53.946	23.976	－	－
26	640 × 480	VESA 60	31.469	59.940	H- 負 V- 負	800
28		VESA 72	37.861	72.809	H- 負 V- 負	832
29		VESA 75 (IBM M3)	37.500	75.000	H- 負 V- 負	840
30		VESA 85 (IBM M4)	43.269	85.008	H- 負 V- 負	832

プリセットメモリーナンバー	プリセット信号 (解像度)		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	ピッチ (Hサイズ)
31	800 × 600	VESA 56	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
32		VESA 60	37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056
33		VESA 72	48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040
34		VESA 75 (IBM M5)	46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056
35		VESA 85	53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048
37	1024 × 768	VESA 60	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344
38		VESA 70	56.476	70.069	H- 負 V- 負	1328
39		VESA 75	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312
45	1280 × 960	VESA 60	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
47	1280 × 1024	VESA 60	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1696
50	1400 × 1050	SXGA +	65.317	59.978	H- 負 V- 正	1864
55	1280 × 768	1280 × 768 /60	47.776	59.870	H- 負 V- 正	1664
56	1280 × 720	1280 × 720 /60	44.772	59.855	H- 負 V- 正	1664

入力信号種別ごとの対応プリセットメモリーナンバーについて

アナログ信号

信号	プリセットメモリーナンバー
コンポーネント信号 (Y Pb/Cb Pr/Cr 端子)	3 ~ 8、10、11
コンピューター信号 (INPUT A 端子)	26、28 ~ 35、37 ~ 39、55、56

デジタル信号

信号	プリセットメモリーナンバー
コンポーネント信号 (HDMI 1、2 端子)	3 ~ 8、10 ~ 14、18 ~ 20
ビデオ GBR 信号 (HDMI 1、2 端子)	3 ~ 8、10 ~ 14、18 ~ 20
コンピューター信号 (HDMI 1、2 端子)	10 ~ 13*、26、32、37、45、47、50、55

* デジタル入力のコンピューター信号の中には、コンポーネント信号あるいはビデオ GBR 信号のプリセットメモリーナンバーとして表示される入力信号があります。

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整／設定できる項目が異なります。詳しくは下の表をご覧ください。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号		
	コンポーネント信号	ビデオ GBR 信号	コンピューター信号
リアリティークリエーション	○	○	×
ランプコントロール	○	○	○
フィルムプロジェクション	○	○	×
モーションエンハンサー	○	○	×
コントラスト	○	○	○
明るさ	○	○	○
色の濃さ	○	○	×
色あい	○	○	×
色温度	○	○	○
シャープネス	○	○	×
NR	○	○	×
MPEG NR	○	○	○
フィルムモード	○ (プリセットメモリ ナンバー 14 を除く)	○ (プリセットメモリ ナンバー 14 を除く)	×
コントラストエンハンサー	○	○	×
ガンマ補正 * ¹	○	○	○
x.v.Color	○	×	×
カラースペース	○	○	○
RCP	○	○	○

○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

スクリーン設定メニュー

項目	入力信号		
	コンポーネント信号	ビデオ GBR 信号	コンピューター信号
アスペクト	○	○	○ *3
オーバースキャン	○	○	×
スクリーンエリア *2	○ (プリセットメモリー ナンバー 7、8、 12、13、14 のみ)	○ (プリセットメモリー ナンバー 7、8、 12、13、14 のみ)	×
画面位置 上下 *4	○	○	×
縦サイズ *4	○	○	×
APA	×	×	○ *5
フェーズ	×	×	○ *5
ピッチ	×	×	○ *5
シフト	○ *5	○ *5	○

○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

*1：「x.v.Color」の設定が「切」のときのみ設定できます。

*2：「 スクリーン設定」メニューの「オーバースキャン」が「入」で、かつ「アスペクト」が「ノーマル」のときのみ設定できます。

*3：コンピューターの入力信号の場合、縦横比が 16:9 のときおよび 16:9 よりも横長のときは設定できません（「ノーマル」固定となります）。

*4：「アスペクト」で「ズーム」を選択したときのみ設定できます。

*5：アナログ信号の場合のみ設定できます。

で注意

HDMI などのケーブルを接続した際、「 情報メニュー」（ 50 ページ）およびデジタル信号（ 71 ページ）にて信号種類を確認して、調整／設定できる項目を確認してください。

対応 3D 信号一覧

本機は以下の 3D 信号に対応しています。

解像度	3D 信号のフォーマット
720/60、50P 1080/24P	左右分割方式
	上下分割方式 *
	フレームパッキング *
1080/60、50i	左右分割方式 *
1080/60、50P	左右分割方式
	上下分割方式

*: HDMI 規格の 3D Mandatory フォーマット

3D 信号と調整／設定項目

3D 信号の種類によっては、調整または設定できない項目があります。調整／設定できない項目は、メニューに表示されません。詳しくは、以下の表をご覧ください。

項目	3D 信号			
	720/60, 50P	1080/60, 50i	1080/24P	1080/60, 50P
ランプコントロール	×	×	×	×
	(「高」固定)	(「高」固定)	(「高」固定)	(「高」固定)
フィルムプロジェクション *	×	×	×	×
モーションエンハンサー	×	×	○	×
NR	×	×	×	×
フィルムモード	×	×	×	×
x.v.Color	×	×	○ (コンポーネント信号のみ)	×
オーバースキャン	×	×	×	×
スクリーンエリア	×	×	×	×
	(「フル」固定)	(「フル」固定)	(「フル」固定)	(「フル」固定)
V キーストーン	×	×	○	×
	(「0」固定)	(「0」固定)		(「0」固定)

○: 調整／設定できる項目

×: 調整／設定できない項目

*: 2D 表示のときは設定可能です。

2D 映像を 3D で表示する場合、「 機能設定」メニューの「3D フォーマット」の設定によっては、調整または設定できない項目があります。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。詳しくは、以下の表をご覧ください。

項目	3D フォーマット		
	上下分割方式	左右分割方式	シミュレーテッド 3D
ランプコントロール	×	×	×
フィルムプロジェクション	×	×	×
モーションエンハンサー	○ (プリセットメモリー ナンバー 14 のみ)	○ (プリセットメモリー ナンバー 14 のみ)	○
NR	×	×	○
MPEG NR	○	○	○
フィルムモード	×	×	×
x.v.Color	○ (プリセットメモリー ナンバー 14 のみ)	○ (プリセットメモリー ナンバー 14 のみ)	○
オーバースキャン	×	×	×
スクリーンエリア	×	×	×
V キーストーン	○ (プリセットメモリー ナンバー 14 のみ)	×	×

アスペクトモード

入力される信号の解像度や 3D フォーマットによって、選択できない項目があります。詳しくは下の表をご覧ください。選択できない項目は、メニューに表示されません。

2D

対応解像度	1920 × 1080 1280 × 720	720 × 480 720 × 576	1280 × 720	その他
プリセットメモリーナンバー (☞ 70 ページ)	7、8、 10～14	3～6	56	26、 28～35、 37～39、 55
ノーマル	○	○	○* ¹	○
フル	×	×	×	○
V ストレッチ	○	○	×	×
スクイーズ	○	○	×	×
ストレッチ	×	○	×	×
ズーム	×	○	×	×
ワイドズーム	○	○	×	×

*¹：ノーマル固定のためメニューには表示されません。

3D

対応解像度	1920 × 1080、1280 × 720			
3D フォーマット	左右分割方式	上下分割方式	フレームパッキング	シミュレーテッド 3D
プリセットメモリーナンバー (☞ 70 ページ)	7、8、 10～14	10～14	18～20	7、8、 10～14
ノーマル	○	○	○	○
フル	×	×	×	×
V ストレッチ	×	×	×	○
スクイーズ	○	○	○	○
ストレッチ	×	×	×	×
ズーム	×	×	×	×
ワイドズーム	×	×	×	○

調整／設定項目の保存条件

各調整／設定項目は、入力端子、映像表示（2D/3D）、またはプリセット信号ごとに個別に保存されます。詳しくは下の表をご覧ください。

入力ごとの対応プリセットメモリーナンバー

入力	プリセットメモリーナンバー
入力 A	26、28～35、37～39、55、56
コンポーネント	3～8、10、11
HDMI 1（2D）	3～8、10～14、18～20、26、32、37、45、47、50、55
HDMI 2（2D）	
HDMI 1（3D）	7、8、10～14、18～20
HDMI 2（3D）	

画質設定メニュー

項目	保存条件
ピクチャープリセット	入力端子、かつプリセット信号ごと
標準に戻す	入力端子、かつピクチャープリセットごと
リアリティークリエーション	
ランプコントロール	
フィルムプロジェクション	
モーションエンハンサー	
コントラスト	
明るさ	
色の濃さ	
色あい	
色温度	
D93～D55	
カスタム 5	
ゲイン R	色温度カスタム 5
ゲイン G	
ゲイン B	
バイアス R	
バイアス G	
バイアス B	

項目	保存条件
シャープネス	入力端子、映像表示（2D/3D）、かつピクチャープリセットごと
NR	
MPEG NR	
フィルムモード	
コントラストエンハンサー	
ガンマ補正	
x.v.Color	
カラースペース	

画質詳細設定メニュー

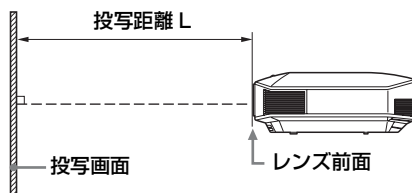
項目	保存条件
RCP：位置	RCP ユーザー 1
RCP：範囲	
RCP 色の濃さ	
RCP 色あい	
RCP 明るさ	

スクリーン設定メニュー

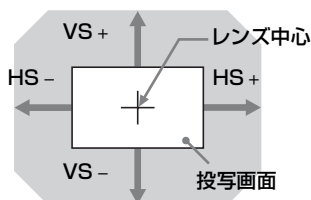
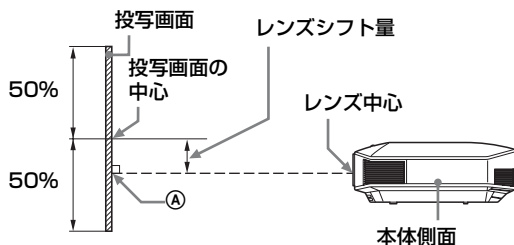
項目	保存条件
オーバースキャン	入力端子、かつプリセット信号ごと
画面位置上下	入力端子ごと
縦サイズ	入力端子ごと
入力信号調整：フェーズ (アナログコンピューター信号)	入力端子、かつプリセット信号ごと
入力信号調整：ピッチ (アナログコンピューター信号)	入力端子、かつプリセット信号ごと
入力信号調整：シフト (すべてのアナログ信号)	入力端子、かつプリセット信号ごと

投写距離とレンズシフト量

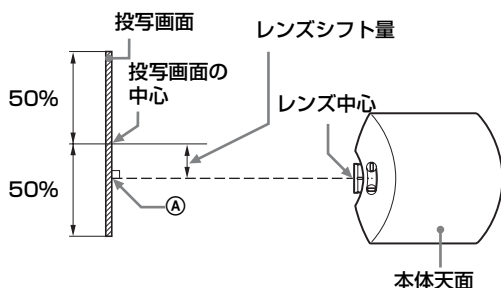
投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。



レンズシフト量は、レンズの中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 ①）と、投写画面の中心が同じ場合を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を 100% とし、その距離をパーセントで表します。



網掛け：移動できる範囲



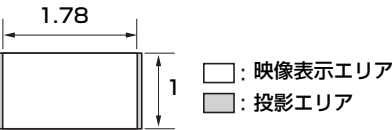
VS+：垂直レンズシフト量（上）[%]

VS-：垂直レンズシフト量（下）[%]

HS+：水平レンズシフト量（右）[%]

HS-：水平レンズシフト量（左）[%]

1.78:1（16:9）投影時



投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L
対角 D	横×縦	
80 型 (2.03)	1.77 × 1.00	2.40 – 3.83
100 型 (2.54)	2.21 × 1.25	3.00 – 4.79
120 型 (3.05)	2.66 × 1.49	3.61 – 5.76
150 型 (3.81)	3.32 × 1.87	4.52 – 7.20
200 型 (5.08)	4.43 × 2.49	6.04 – 9.61

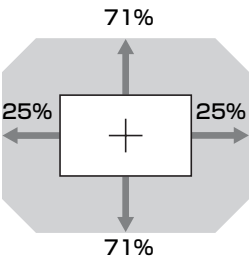
投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

単位：m

投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
$L=0.030349 \times D - 0.0354$	$L=0.048191 \times D - 0.0212$

レンズシフト量



$VS + = VS - = 71 - 2.840 \times$
 $(HS + \text{もしくは} HS -) [\%]$

$HS + = HS - = 25 - 0.352 \times$
 $(VS + \text{もしくは} VS -) [\%]$

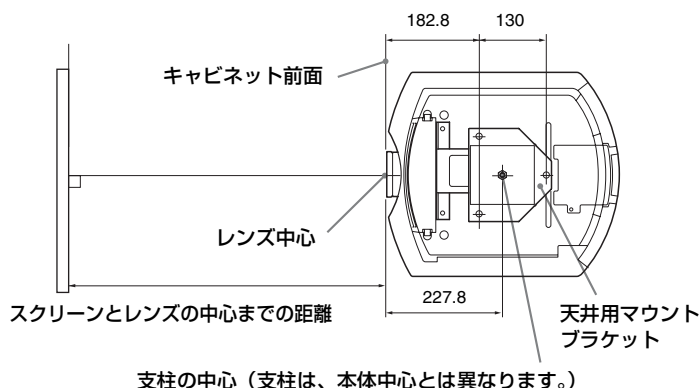
プロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 の取り付けかた

天井への設置に関して詳しくは、PSS-H10 の取付説明書をご覧ください。また、取り付けは必ずソニーの相談窓口にご相談ください。

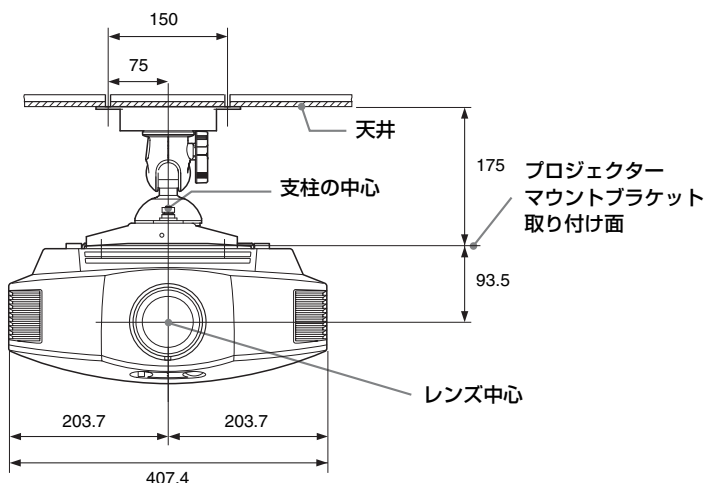
ここでは、本機を PSS-H10 を使って天井に取り付けた場合の設置寸法について説明します。

上から見た図

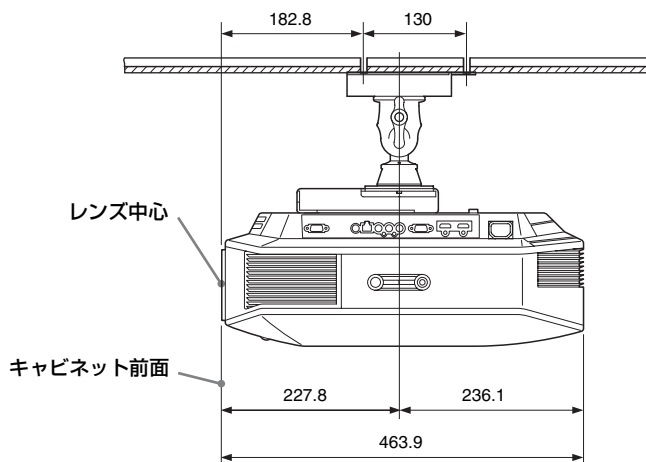
プロジェクターのレンズとスクリーンが平行になるように設置してください。



前から見た図



横から見た図



索引

五十音順

数字

「3D SYNC 出力」	44
3D 信号一覧	74
「3D 設定」	
「2D-3D 表示選択」	43
「3D 奥行き調整」	44
「3D フォーマット」	43
「3D メガネ明るさ」	44
「シミュレーテッド 3D 効果」	44
3D メガネ	
3D メガネの動作範囲	23

あ

「明るさ」	34
アスペクト	
「ズーム」	19, 38
「スクイーズ」	21, 39
「ストレッチ」	20, 38
「ノーマル」	20, 21, 38
「フル」	21, 39
「ワイドズーム」	19, 38
「V ストレッチ」	20, 38
「色あい」	34
「色温度」	34
「色の濃さ」	34
「エキスパート設定」	35
「オート入力サーチ」	46
「オーバースキャン」	39

か

各部の名前	
後面／底面	4
前面／右側面	3
「コントラスト」	34
「画像反転」	48
「画面表示」	41
「カラースペース」	36
「ガンマ補正」	36

故障かな？と思ったら	54
「コントラストエンハンサー」	35

さ

「シネマブラックプロ」	33
「シャープネス」	35
仕様	68
「スクリーンエリア」	39
「スタンバイモード」	41
接続する	
3D シンクロトランスミッターを	
つなぐ	15
パソコンをつなぐ	14
ビデオ機器をつなぐ	12
「セッティングロック」	47
前脚部（調整可）	11

た

調整	
画質の調整	26
画面の調整	7
投写距離とレンズシフト量	79

な

「入力信号調整」	
「APA（オートピクセルアライメ	
ント）」	40
「シフト」	40
「ピッチ」	40
「フェーズ」	40

は

「パネルアライメント」	49
「パワーセービング」	42
「ピクチャープリセット」	
「ゲーム」	32
「シネマ フィルム 1」	32
「シネマ フィルム 2」	32
「フォト」	32
「ブライトシネマ」	32
「ブライト TV」	33
「ユーザー」	33
「リファレンス」	32
「TV」	32
「表示言語」	41

「フィルムプロジェクト」	34
「フィルムモード」	35
「ブランキング」	48
プリセット信号	70
プリセットメモリー	51
プリセットモード	
BRT CINE	25
BRT TV	25
CINEMA FILM1	25
CINEMA FILM2	25
GAME	25
PHOTO	25
REF	25
TV	25
USER	25

ま

「無信号入力時背景」	46
メッセージ	
警告メッセージ	59
注意メッセージ	60
メニュー	
画質詳細設定	37
画質設定	32
機能設定	43
情報	50
初期設定	41
スクリーン設定	38
設置設定	48
「メニュー位置」	41
「モーションエンハンサー」	34

ら

「ランプコントロール」	33
「ランプ使用時間」	50
「ランプ設定」	42
「リアリティークリエーション」	33
リセット	
設定値をリセットする	31
リセットできる項目	31
リモコン	
各部の名前	5
「冷却設定」	41

アルファベット順

APA (オートピクセルアライメント)	40
「fH (水平周波数)」	50
「fV (垂直周波数)」	50
HDMI	12
「HDMI 機器制御設定」	45
「HDMI ダイナミックレンジ」	46
「Motionflow」	34
「MPEG NR (MPEG ノイズリダクション)」	35
「NR (ノイズリダクション)」	35
「RCP (リアルカラープロセッシング)」	37
「V キーストーン」	48
x.v.Color (エックスバイ・カラー)	36, 53

商標について

- ・「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ・HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ・「ブルーレイ」、「ブルーレイディスク」は Blu-ray Disc Association の商標です。

HDMI 機器制御は、HDMI で規格化されている HDMI CEC (Consumer Electronics Control) を使った機器間相互制御の機能です。

本機は、HDMI の DeepColor、x.v.Color、LipSync、コンピューター入力信号、3D 信号に対応しております。また HDCP に対応しております。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「203」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1